

《工学研究科電気電子工学専攻》

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料1	富山県立大学大学院工学研究科の志願状況等	p. 2
資料2	新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙1）	p. 3
資料3	既設学科等の入学定員の充足状況（別紙2）	p. 4
資料4	富山県立大学工学部の志願状況等	p. 5
資料5	既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績（別紙3）	p. 6
資料6	競合校の状況分析	p. 7
資料7	競合校の志願状況等	p. 8
資料8	富山県立大学情報工学系大学院に関する進学需要調査	p. 9
資料9	富山県立大学情報工学系大学院に関する人材需要調査	p. 53

富山県立大学大学院工学研究科の志願状況等

研究科名	専攻名	項目	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	入学定員に対する平均比率	備 考
工 学 研 究 科	工学専攻（機械システム）（M）	志願者数	18	35	26	29	28	1.26	R3設置
		合格者数	16	32	25	27	27		
		入学者数(A)	15	31	23	27	27		
		入学定員(B)	17	20	20	20	20		
		入学定員充足率(A/B)	0.88	1.55	1.15	1.35	1.35		
	工学専攻（知能ロボット）（M）	志願者数	23	21	29	25	30	1.20	
		合格者数	21	21	27	24	30		
		入学者数(A)	20	19	26	22	29		
		入学定員(B)	17	20	20	20	20		
		入学定員充足率(A/B)	1.18	0.95	1.30	1.10	1.45		
	電子専攻・情報工学（M）	志願者数	27	30	30	28	41	1.19	
		合格者数	26	30	27	25	40		
		入学者数(A)	26	30	26	24	40		
		入学定員(B)	17	27	27	27	27		
		入学定員充足率(A/B)	1.53	1.11	0.96	0.89	1.48		
	工学専攻（環境・社会基盤）（M）	志願者数	10	18	13	20	15	0.90	
		合格者数	10	16	13	19	14		
		入学者数(A)	10	11	13	18	13		
		入学定員(B)	12	15	15	15	15		
		入学定員充足率(A/B)	0.83	0.73	0.87	1.20	0.87		
	工学専攻（生物・医薬品）（M）	志願者数	12	25	45	38	50	1.21	
		合格者数	12	24	42	33	45		
		入学者数(A)	12	23	41	30	42		
		入学定員(B)	15	26	26	26	26		
		入学定員充足率(A/B)	0.80	0.88	1.58	1.15	1.62		
	総合工学専攻（D）	志願者数		6	6	9	10	0.75	
		合格者数		6	6	8	10		
		入学者数(A)		6	6	8	10		
			(うち2026年度以降「情報工学研究科」に属する分野)	(2)	(2)	(3)	(3)		
			(うち2026年度以降「工学研究科」に属する分野)	(4)	(4)	(5)	(7)		
		入学定員(B)		10	10	10	10		
		入学定員充足率(A/B)		0.60	0.60	0.80	1.00		

【博士前期課程】計	志願者数	90	129	143	140	164	1.17
	合格者数	85	123	134	128	156	
	入学者数(I)	83	114	129	121	151	
	入学定員(J)	78	108	108	108	108	
	入学定員充足率(I/J)	1.06	1.06	1.19	1.12	1.40	

【博士後期課程】計	志願者数		6	6	9	10	0.75
	合格者数		6	6	8	10	
	入学者数(I)		6	6	8	10	
	入学定員(J)		10	10	10	10	
	入学定員充足率(I/J)		0.60	0.60	0.80	1.00	

工学研究科 合 計	志願者数	90	135	149	149	174	1.14
	合格者数	85	129	140	136	166	
	入学者数(I)	83	120	135	129	161	
	入学定員(J)	78	118	118	118	118	
	入学定員充足率(I/J)	1.06	1.02	1.14	1.09	1.36	

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

資料2

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

別紙1

	都道府県名	人 数	構成比
1			#DIV/0!
2			#DIV/0!
3			#DIV/0!
4			#DIV/0!
5			#DIV/0!
	全 体		#DIV/0!

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況（本大学院工学研究科の状況）

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	富山県立大学大学院工学研究科 博士前期課程 (富山県)	119.44%	112.04%	139.81%
2	富山県立大学大学院工学研究科 博士後期課程 (富山県)	60.00%	80.00%	100.00%

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

（出典：日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」）

	系統区分	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	理・工学系（修士課程及び博士前期課程、専門職学位課程）	97.26%	102.95%	106.08%
2	理・工学系（博士課程及び博士後期課程）	41.11%	41.62%	45.18%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
学校推薦型選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11人
	延べ人数	志願者数	15人	27人	12人	17人	17人	18人
		受験者数	15人	27人	12人	17人	17人	18人
		合格者数	11人	11人	11人	11人	11人	11
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	15人	27人	12人	17人	17人	17.6
		受験者数	15人	27人	12人	17人	17人	17.6
		合格者数	11人	11人	11人	11人	11人	11
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
一般選抜	募集人数		11人	11人	11人	11人	11人	11
	延べ人数	志願者数	34人	34人	34人	34人	34人	34
		受験者数	93人	182人	200人	177人	75人	145.4
		合格者数	46人	46人	54人	52人	48人	49.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	11人	10人	20人	18人	10人	13.8
	実人数	志願者数	87人	169人	188人	171人	68人	136.6
		受験者数	84人	161人	178人	169人	67人	131.8
		合格者数	46人	46人	54人	52人	48人	49.2
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
共通テスト利用入試	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
その他の特別選抜	募集人数		0人	0人	0人	0人	0人	0
	延べ人数	志願者数	1人	1人	1人	0人	0人	0.6
		受験者数	0人	1人	1人	0人	0人	0.4
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
	実人数	志願者数	1人	1人	1人	0人	0人	0.6
		受験者数	0人	1人	1人	0人	0人	0.4
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
合計	募集人数		45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	109人	210人	213人	194人	92人	164人
		受験者数	105人	202人	203人	192人	91人	159人
		合格者数	57人	57人	65人	63人	59人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	10人	20人	18人	10人	14人
	実人数	志願者数	103人	197人	201人	188人	85人	155人
		受験者数	99人	189人	191人	186人	84人	150人
		合格者数	57人	57人	65人	63人	59人	60人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学定員充足率	入学定員		45人	45人	45人	45人	45人	45
	入学定員充足率		1.02	1.04	1.00	1.00	1.09	1.03
歩留率			0.81	0.82	0.69	0.71	0.83	0.77

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平 均
入 学 定 員	45人	45人	45人	45人	45人	45
入 学 定 員 充 足 率	1.02	1.04	1.00	1.00	1.09	1.03
歩 留 率	0.81	0.82	0.69	0.71	0.83	0.77

富山県立大学工学部の志願状況等

資料4

<学部・学科>

学部名	学科名	項目	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	入学定員に対する平均比率	備 考
工 学 部	機械システム 工学科	志願者数	152	235	273	182	186		
		合格者数	78	79	80	80	77		
		入学者数(A)	60	67	60	60	66	1.03	
		入学定員(B)	60	60	60	60	60		
		入学定員充足率(A/B)	1.00	1.12	1.00	1.00	1.10		
	知能ロボット 工学科	志願者数	208	216	243	175			
		合格者数	74	77	100	106			
		入学者数(A)	63	61	70	74		1.03	
		入学定員(B)	60	60	70	70			
		入学定員充足率(A/B)	1.05	1.02	1.00	1.06			
	電気電子工学 工学科	志願者数	109	210	213	194	92		
		合格者数	57	57	65	63	59		
		入学者数(A)	46	47	45	45	49	1.02	
		入学定員(B)	45	45	45	45	45		
		入学定員充足率(A/B)	1.02	1.04	1.00	1.00	1.09		
	情報システム 工学科	志願者数	212	299	269	345			
		合格者数	58	57	86	86			
		入学者数(A)	47	51	70	75		1.06	
		入学定員(B)	45	45	70	70			
		入学定員充足率(A/B)	1.04	1.13	1.00	1.07			
	環境・社会基 盤工学科	志願者数	195	206	409	168	159		
		合格者数	72	95	72	71	75		
		入学者数(A)	64	55	57	56	65	1.05	
		入学定員(B)	55	55	55	55	55		
		入学定員充足率(A/B)	1.16	1.00	1.04	1.02	1.18		
	生物工学科	志願者数	65	124	87	99	59		
		合格者数	49	49	48	49	49		
		入学者数(A)	42	40	43	40	43	1.03	
		入学定員(B)	40	40	40	40	40		
		入学定員充足率(A/B)	1.05	1.00	1.08	1.00	1.08		
	医薬品工学科	志願者数	113	161	140	134	98		
		合格者数	50	47	46	46	44		
		入学者数(A)	35	38	41	40	35	1.10	
		入学定員(B)	35	35	35	35	35		
		入学定員充足率(A/B)	1.00	1.09	1.17	1.14	1.00		

工 学 部 合 計	志願者数	1,054	1,451	1,634	1,297	594		
	合格者数	438	461	497	501	304		
	入学者数(I)	357	359	386	390	258	1.04	
	入学定員(J)	340	340	375	375	235		
	入学定員充足率(I/J)	1.05	1.06	1.03	1.04	1.10		

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

資料5

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：工学研究科博士前期課程 進学者増加に向けた取組

別紙3

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	1482人	1511人	①取組概要 学部教育の中で大学院進学の意味や重要性等について機会をとらえて丁寧に助言を行うとともに、本学の特徴でもある少人数教育の指導等の中で、指導教員がきめ細やかに進路相談に応じる。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験者対象者数を45人（工学部電気電子工学科入学定員）、学内進学者の入学率を34%（工学研究科博士前期課程のR5,6年度入試の平均）と想定し、入学者数は15人を見込む。
うち受験対象者数(b)	387人	386人	
うち受験者数(c)	133人	153人	
うち入学者数(d)	118人	145人	
(受験率 c/b)	34.4%	39.6%	
(入学率 d/b)	30.5%	37.6%	

競合校の状況分析

	1	2
研究科	富山大学大学院理工学研究科	愛知県立大学大学院情報科学研究科
専攻 プログラム	【博士前期課程】 ・数理情報学プログラム ・物理学・応用物理学プログラム ・生命・物質科学プログラム ・地球生命環境科学プログラム ・メカトロニクスプログラム ・マテリアル科学工学プログラム ・都市・交通デザイン学プログラム ・先端クリーンエネルギープログラム 【博士後期課程】 ・数理情報学・データサイエンスプログラム ・生命・物質・エネルギー科学プログラム ・サステイナブル地球環境学プログラム ・先進工学プログラム	【博士前期課程】 ・情報システム専攻 ・メディア情報専攻 ・システム科学専攻 【博士後期課程】 ・情報科学専攻
学校種	国立	公立
定員規模		
博士前期課程	273人	30人
博士後期課程	24人	3人
学問分野	理学・工学	工学
所在地	富山県	愛知県
学力層	同程度以上	同程度以上
教育内容と方法	【博士前期課程】 幅広い学問の基盤的能力と高度な専門的知識を修得し、倫理観及び新たな知を創り出す創造力を身につけ、分野の枠を超えたイノベーションを可能とする高度専門職業人の養成を目的として、理学と工学の枠を超えた教育・研究を展開することを目指す。 【博士後期課程】 博士前期課程と連携して、理学・工学の学問領域の相補的・相乗的な連携を強化し、より高度な専門教育を行っていくことにより、先端的な自然科学の成果を社会に対して説明責任を果たしつつ社会実装でき、新しい融合学問領域におけるイノベーションに貢献できる高度理工系人材・研究者を育成することを目的とする。	【博士前期課程】 学部における3つのコースを基礎とした、「情報システム専攻」、「メディア情報専攻」、「システム科学専攻」の3つの専攻のそれぞれにおいて、情報科学に関する学術研究の推進・発展に寄与し、地域社会が必要とする情報科学に関する高度な専門知識と問題解決能力を身に付けた高度専門職業人(高度情報システム技術者)を目指す。 【博士後期課程】 先端的かつ専門的知識・技術に習熟し、情報システム技術を自立して発想・開発することのできる先端的高度情報システム技術者及び研究者を目指す。
入試時期	【博士前期課程】 一般入試 (10月入学) 8月中旬 推薦入試 6月下旬 一般入試 8月中旬 社会人特別入試 8月中旬 外国人留学生入試 8月中旬 【博士後期課程】 一般入試 8月中旬 社会人特別入試 8月中旬 外国人留学生入試 8月中旬	【博士前期課程】 一般入試 10月初旬 社会人入試 10月初旬 外国人留学生入試 10月初旬 【博士後期課程】 一般入試 10月初旬、2月中旬 社会人入試 10月初旬、2月中旬 外国人留学生入試 10月初旬、2月中旬
学生納付金	入学科 282,000 円 (予定) 令和6年度授業料 年額 535,800 円	入学科 282,000円 年額 535,800円 (予定)
修学支援	入学科免除・納付猶予 授業料免除・納付猶予 寄宿料免除 給付型支援、雇用型支援、貸与型支援 等	入学科・授業料の減免 授業料後払い制度 奨学金(給付)交付制度 等

出典：富山大学ホームページ、愛知県立大学ホームページ

競合校の志願状況等

大学院	研究科	入学 年度	募集人員 (a)	志願者数 (b)	受験者数	合格者数	入学者数 (c)	志願倍率 (b/a)	定員充足率 (c/a)
富山大学 大学院	理工学研究科 (修士課程)	2022	249	309	307	302	299	1.2	1.2
		2023	249	360	346	336	311	1.4	1.2
	理工学研究科 (博士前期課程)	2024	273	369	361	358	325	1.4	1.2
	理工学教育部 (博士課程)	2022	16	19	19	19	19	1.2	1.2
		2023	16	28	28	28	27	1.8	1.7
	理工学研究科 (博士後期課程)	2024	24	19	19	19	19	0.8	0.8
愛知県立大 学大学院	情報科学研究科 (博士前期課程)	2023	30	27	27	26	26	0.9	0.9
		2024	30	36	36	36	36	1.2	1.2
	情報科学研究科 (博士後期課程)	2023	3	2	2	2	2	0.7	0.7
		2024	3	0	0	0	0	-	-

出典

富山大学ホームページ

愛知県立大学ホームページ

富山県立大学 情報工学系大学院に関する 進学需要調査

【学生の入学希望】

調査結果報告書

2025年1月

富山県立大学

目次

▶調査概要	3
▶調査結果【博士前期課程】	4
・ サマリー①	5
・ サマリー②	7
・ 回答者プロフィール	9
・ <進路検討状況>学部卒業後の希望進路	10
・ <進路検討状況>興味のある学問分野	12
・ 富山県立大学情報工学系大学院の印象	13
・ 富山県立大学情報工学系大学院への受験希望・入学希望	15
・ 受験希望者数・入学希望者数	23
・ 学生アンケート分析結果	26
・ 大学院の教育研究に関する意見・要望	28
▶調査結果【博士後期課程】	29
・ 回答者プロフィール	30
・ <進路検討状況>博士前期課程修了後の希望進路	31
・ 受験希望者数・入学希望者数	32
・ 学生アンケート分析結果	33
・ 大学院の教育研究に関する意見・要望	34
▶調査票・提示資料	35

調査概要

▶調査目的

- 富山県立大学が計画している情報工学系大学院の設置・再編について、在学生を対象に受験希望・入学希望をアンケート調査し、受容性を確認する。

▶調査対象

- 設置・再編する情報工学系大学院の初年度入学生となり得る富山県立大学の学生
 - 【博士前期課程の進学需要調査】工学部3年生 181名
内訳: 知能ロボット工学科(67名), 電気電子工学科(44名), 情報システム工学科(70名)
 - 【博士後期課程の進学需要調査】工学研究科博士前期課程1年生 69名
内訳: 知能ロボット工学専攻(29名), 電子・情報工学専攻(40名)

▶調査方法

- 調査対象の学生にWebによるアンケート調査を実施する。

▶調査期間

- アンケート開始: 2024年12月2日(月)～締め切り: 2024年12月27日(金) 回答受信分

▶有効回答数

- 博士前期課程の進学需要調査
115件(回答率: 63.5%) 対象者181名に対し
- 博士後期課程の進学需要調査
46件(回答率: 66.7%) 対象者69名に対し

<調査結果>

【博士前期課程】

本書に記載する情報工学研究科及び各専攻の名称はすべて仮称です。

サマリー①

・志望する大学院の設置者 **「公立大学志望・計」93.1%**

- ・進学先として志望する大学院の設置者を尋ねたところ、博士前期課程への進学希望者のうち、「公立」と回答した者は、93.1%

・興味のある学問分野

電気通信工学，その他工学

(データサイエンス専攻、情報システム工学専攻、電気電子工学専攻に該当する学問分野)

「興味がある・計」86.2%

電気通信工学，機械工学，その他工学

(知能ロボット工学専攻に該当する学問分野)

「興味がある・計」100%

- ・進学先として興味のある分野を尋ねたところ、博士前期課程への進学希望者のうち、データサイエンス専攻、情報システム工学専攻及び電気電子工学専攻に該当する学問分野である「電気通信工学」「その他工学」のいずれかに「興味がある」と回答した者は、86.2%。知能ロボット工学専攻に該当する学問分野である「電気通信工学」「機械工学」「その他工学」のいずれかに「興味がある」と回答した者は、100%。

・富山県立大学情報工学系大学院の印象

データサイエンス専攻 **「魅力を感じる・計」82.8%**

情報システム工学専攻 **「魅力を感じる・計」89.7%**

知能ロボット工学専攻 **「魅力を感じる・計」72.4%**

電気電子工学専攻 **「魅力を感じる・計」72.4%**

- ・いずれの専攻の印象も「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」を合わせた「魅力を感じる・計」は博士前期課程進学希望者の7割以上
- ・最も多かったのは、情報システム工学専攻 (89.7%)

・富山県立大学情報工学系大学院への受験希望の有無

データサイエンス専攻 **「第一志望受験希望・計」 20.7%** *1 *2

情報システム工学専攻 **「第一志望受験希望・計」 29.3%** *1 *2

知能ロボット工学専攻 **「第一志望受験希望・計」 31.0%** *2

電気電子工学専攻 **「第一志望受験希望・計」 22.4%** *2

*1 複数の専攻を選択する回答者1人(2専攻選択/人)を含む。

*2 複数の専攻を選択する回答者1人(4専攻選択/人)を含む。

・富山県立大学情報工学系大学院の受験希望の有無を尋ねたところ、博士前期課程への進学希望者のうち、「第一志望として受験する」と回答した者は、データサイエンス専攻では20.7%、情報システム工学専攻では29.3%、知能ロボット工学専攻では31.0%、電気電子工学専攻では22.4%(第一志望受験希望・計)。いずれの専攻も「第一志望受験希望・計」は2割以上。

・最も多かったのは、知能ロボット工学専攻(31.0%)

・富山県立大学情報工学系大学院への入学希望の有無

データサイエンス専攻 **「入学希望・計」 91.7%** *2

情報システム工学専攻 **「入学希望・計」 94.1%** *2

知能ロボット工学専攻 **「入学希望・計」 94.4%** *2

電気電子工学専攻 **「入学希望・計」 100%** *2

*2 複数の専攻を選択する回答者1人(4専攻選択/人)を含む。

・富山県立大学情報工学系大学院の入学希望の有無を尋ねたところ、各専攻の第一志望受験希望者のうち、合格した場合に「入学する」と回答した者は、データサイエンス専攻では91.7%、情報システム工学専攻では94.1%、知能ロボット工学専攻では94.4%、電気電子工学専攻では100%(入学希望・計)。いずれの専攻も「入学希望・計」は9割以上。

・最も多かったのは、電気電子工学専攻(100%)

サマリー②

・富山県立大学情報工学系大学院の入学定員充足見込み

回答者全体 115人のうち

- | | | |
|-----------------------|-----|-------------|
| ①博士前期課程への進学を希望する者は | 58人 | 回答者全体の50.4% |
| ② ①のうち、設置者「公立」を志望する者は | 54人 | 回答者全体の47.0% |

データサイエンス専攻

「第一志望受験希望×入学希望・計」 9人

- | | | |
|---|--------|-------------|
| ③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電子通信工学」「その他の工学」のいずれかに興味のある者は | 47人 | 回答者全体の40.9% |
| ④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は | 10人 *1 | 回答者全体の 8.7% |
| ⑤ ④のうち、入学を希望する者は | 9人 | 回答者全体の 7.8% |

*1 複数の専攻を選択する回答者1人(2専攻選択/人)を含む。

クロス集計の結果、富山県立大学大学院情報工学研究科データサイエンス専攻の入学希望者は、
予定入学定員数14人に対し9人(予定入学定員数の64.3%)

情報システム工学専攻

「第一志望受験希望×入学希望・計」 15人

- | | | |
|---|--------|-------------|
| ③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電子通信工学」「その他の工学」のいずれかに興味のある者は | 47人 | 回答者全体の40.9% |
| ④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は | 16人 *1 | 回答者全体の13.9% |
| ⑤ ④のうち、入学を希望する者は | 15人 | 回答者全体の13.0% |

*1 複数の専攻を選択する回答者1人(2専攻選択/人)を含む。

クロス集計の結果、富山県立大学大学院情報工学研究科情報システム工学専攻の入学希望者は、
予定入学定員数24人に対し15人(予定入学定員数の62.5%)

知能ロボット工学専攻

「第一志望受験希望×入学希望・計」 16人

- ③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電子通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれかに興味のある者は 54人 回答者全体の47.0%
- ④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は 17人 *2 回答者全体の14.8%
- ⑤ ④のうち、入学を希望する者は 16人 *2 回答者全体の13.9%

*2 複数の専攻を選択する回答者1人(4専攻選択/人)を含む。

クロス集計の結果、富山県立大学大学院情報工学研究科知能ロボット工学専攻の入学希望者は、予定入学定員数24人に対し16人(予定入学定員数の66.7%)

電気電子工学専攻

「第一志望受験希望×入学希望・計」 11人

- ③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電子通信工学」「その他の工学」のいずれかに興味のある者は 47人 回答者全体の40.9%
- ④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は 11人 回答者全体の 9.6%
- ⑤ ④のうち、入学を希望する者は 11人 回答者全体の 9.6%

クロス集計の結果、富山県立大学大学院工学研究科電気電子工学専攻の入学希望者は、予定入学定員数15人に対し11人(予定入学定員数の73.3%)

回答者プロフィール

- 回答者の現在の学科、学年は、
 知能ロボット工学科 3年 34.8%
 電気電子工学科 3年 26.1%
 情報システム工学科 3年 39.1%

【1】現在の学科、学年を教えてください。＊

(単位：人)		知能ロボット工学科 3年	電気電子工学科 3年	情報システム工学科 3年	合計
回答者					
全体		40	30	45	115

(単位：％)		知能ロボット工学科 3年	電気電子工学科 3年	情報システム工学科 3年
回答者				
全体	(n= 115)	34.8	26.1	39.1

<進路検討状況>学部卒業後の希望進路

- 学部卒業後に希望する進路を尋ねたところ、「博士前期課程へ進学」を希望する者が50.4%
 - 回答者の所属学科別にみると、「進学希望・計」（「博士前期課程へ進学」を選択した者）は、知能ロボット工学科が72.5%、電気電子工学科が40.0%、情報システム工学科が37.8%
- 志望する大学院の設置者では「公立」を志望する者が93.1%

【2】あなたは、学部卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。＊

		(単位：人)	博士前期 課程へ進 学	就職	その他	合計
回答者						
全体			58	52	5	115
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年		29	8	3	40
	電気電子工学科 3年		12	18	0	30
	情報システム工学科 3年		17	26	2	45

		(単位：%)	博士前期 課程へ進 学	就職	その他	進学希 望・計	進学非希 望・計
回答者							
全体		(n= 115)	50.4	45.2	4.3	50.4	49.6
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 40)	72.5	20.0	7.5	72.5	27.5
	電気電子工学科 3年	(n= 30)	40.0	60.0	0.0	40.0	60.0
	情報システム工学科 3年	(n= 45)	37.8	57.8	4.4	37.8	62.2

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い

進学希望・計＝「博士前期課程へ進学」を選択する者
 進学非希望・計＝「博士前期課程へ進学」を選択しない者

【3】志望する大学院は、次のどれですか。（複数選択可）＊

		(単位：人)	国立	公立	私立	合計
		進学希望者（複数回答）				
全体			15	54	0	69
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年		8	26	0	34
	電気電子工学科 3年		2	11	0	13
	情報システム工学科 3年		5	17	0	22

		(単位：％)	国立	公立	私立	公立大学 志望・計	公立大学 非志望・ 計
		進学希望者					
全体		(n= 58)	25.9	93.1	0.0	93.1	6.9
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 29)	27.6	89.7	0.0	89.7	10.3
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	16.7	91.7	0.0	91.7	8.3
	情報システム工学科 3年	(n= 17)	29.4	100.0	0.0	100.0	0.0

※「全体」と比較して 5pt 以上高い

10pt 以上低い

公立大学志望・計＝「公立」を選択する者

公立大学非志望・計＝「公立」を選択しない者

＜進路検討状況＞興味のある学問分野

- 博士前期課程進学希望者に興味のある学問分野を尋ねたところ、上位から順に以下の通り（興味がある・計）であった。
 - ①電気通信工学（情報工学、情報システム工学、知能ロボット工学、電気電子工学など）（72.4%）
 - ②その他の工学（情報・データサイエンス）（34.5%）
 - ③機械工学（知能機械システム工学、精密工学、ロボット・メカトロニクスシステム、メカノマイクロ工学など）（25.9%）
- 博士前期課程進学希望者のうち、データサイエンス専攻、情報システム工学専攻及び電気電子工学専攻に該当する学問分野である「電気通信工学」「その他工学」のいずれかに「興味がある」と回答した者は、86.2%。知能ロボット工学専攻に該当する学問分野である「電気通信工学」「機械工学」「その他工学」のいずれかに「興味がある」と回答した者は、100%。
 - 現在の所属学科別にみると、知能ロボット工学科の学生は、「電気通信工学」「その他工学」に興味のある者が72.4%、「機械工学」に興味のある者を含めると100%の者が富山県立大学情報工学系大学院のに該当する学問分野に興味を持っている。電気電子工学科及び情報システム工学科の学生は、100%の者が富山県立大学情報工学系大学院のに該当する学問分野に興味を持っている。

【4】興味のある学問分野を選択してください。（複数選択可）＊

		(単位：人)				
		電気通信工学	機械工学	その他の工学	左記以外（工学系以外も含む）	合計
		進学希望者（複数回答）				
全体		42	15	20	0	77
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	16	15	9	0	40
	電気電子工学科 3年	12	0	1	0	13
	情報システム工学科 3年	14	0	10	0	24
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者	12	4	8	0	24
	公立大学志望者	40	14	19	0	73

			(単位：%)	電気通信 工学	機械工学	その他の 工学	左記以外 (工学系以 外も含む)	興味がある (データサイエンス専 攻、情報システム工学 専攻に該当する 学問分野) *1	興味がある(知 能ロボット工学専 攻に該当する学 問分野) *2
			進学希望者						
全体			(n= 58)	72.4	25.9	34.5	0.0	86.2	100.0
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 29)	55.2	51.7	31.0	0.0	72.4	100.0	
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	100.0	0.0	8.3	0.0	100.0	100.0	
	情報システム工学科 3年	(n= 17)	82.4	0.0	58.8	0.0	100.0	100.0	
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	(n= 15)	80.0	26.7	53.3	0.0	93.3	100.0	
	公立大学志望者	(n= 54)	74.1	25.9	35.2	0.0	87.0	100.0	

※n=0は非表示

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

*1 データサイエンス専攻、情報システム工学専攻及び電気電子工学専攻に該当する学問分野「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

*2 知能ロボット工学専攻に該当する学問分野「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

富山県立大学情報工学系大学院の印象

- 富山県立大学情報工学系大学院の各専攻の印象についてどの程度魅力を感じるか尋ねたところ、博士前期課程進学希望者において、データサイエンス専攻では82.8%、情報システム工学専攻では89.7%、知能ロボット工学専攻では72.4%、電気電子工学専攻では72.4%が魅力を感じている（魅力を感じる・計）。
- 現在の所属学科別にみると、知能ロボット工学科の学生はいずれの専攻に対しても8割以上が魅力を感じており、特に知能ロボット工学専攻に対しては全学生が魅力を感じている。電気電子工学科の学生は電子電子工学専攻に9割以上、データサイエンス専攻に7割以上が魅力を感じている。情報システム工学科の学生は、情報システム工学専攻に全学生が、データサイエンス専攻に7割以上が魅力を感じている。
- 興味のある学問分野別にみると、「電気通信工学」に興味のある者はデータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、電気電子工学専攻に8割以上が魅力を感じている。「機械工学」に興味のある者はデータサイエンス専攻に8割以上、情報システム工学専攻に9割以上が魅力を感じており、学問分野が該当する知能ロボット工学専攻に対しては全学生が魅力を感じている。「その他工学」に興味のある者はデータサイエンス専攻、知能ロボット工学専攻に7割以上、情報システム工学専攻に9割以上が魅力を感じている。
- いずれの専攻も7割以上が魅力を感じており、中でも情報システム工学専攻は魅力を感じる者が多い。

【5】～【8】R8.4に新設予定の富山県立大学大学院 博士前期課程の各専攻の印象についてお伺いします。

	(単位：人)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	合計
進学希望者						
データサイエンス専攻		16	32	10	0	58
情報システム工学専攻		21	31	6	0	58
知能ロボット工学専攻		19	23	16	0	58
電子電気工学専攻		13	29	14	2	58

	(単位：%)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない	魅力を感じる・計
進学希望者						
データサイエンス専攻	(n= 58)	27.6	55.2	17.2	0.0	82.8
情報システム工学専攻	(n= 58)	36.2	53.4	10.0	0.0	89.7
知能ロボット工学専攻	(n= 58)	32.8	39.7	27.6	0.0	72.4
電子電気工学専攻	(n= 58)	22.4	50.0	24.1	3.4	72.4

※「全体」と比較して **5pt** 以上高い

10pt 以上低い

魅力を感じる・計 = 「とても魅力を感じる」 + 「ある程度魅力を感じる」

			データサイエンス専攻			情報システム工学専攻			知能ロボット工学専攻			電気電子工学専攻			
			(単位：%)	とても 魅力を感じ る	ある程 度魅力を感じ る	魅力を 感じる ・計	とても 魅力を感じ る	ある程 度魅力を感じ る	魅力を 感じる ・計	とても 魅力を感じ る	ある程 度魅力を感じ る	魅力を 感じる ・計	とても 魅力を感じ る	ある程 度魅力を感じ る	魅力を 感じる ・計
進学希望者															
全体			(n= 58)	27.6	55.2	82.8	36.2	53.4	89.7	32.8	39.7	72.4	22.4	50.0	72.4
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 29)	37.9	51.7	89.7	34.5	58.6	93.1	51.7	48.3	100.0	24.1	55.2	79.3	
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	8.3	66.7	75.0	8.3	58.3	66.7	8.3	25.0	33.3	33.3	58.3	91.7	
	情報システム工学科 3年	(n= 17)	23.5	52.9	76.5	58.8	41.2	100.0	17.6	35.3	52.9	11.8	35.3	47.1	
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	(n= 15)	26.7	46.7	73.3	33.3	60.0	93.3	40.0	40.0	80.0	13.3	60.0	73.3	
	公立大学志望者	(n= 54)	27.8	53.7	81.5	37.0	51.9	88.9	33.3	38.9	72.2	24.1	50.0	74.1	
設置者×学問分 野別	公立大学志望者×「電気通信工学」に興味あり	(n= 42)	30.0	52.5	82.5	37.5	50.0	87.5	30.0	37.5	67.5	27.5	52.5	80.0	
	公立大学志望者×「機械工学」に興味あり	(n= 15)	35.7	50.0	85.7	35.7	57.1	92.9	71.4	28.6	100.0	28.6	50.0	78.6	
	公立大学志望者×「その他の工学」に興味あり	(n= 20)	26.3	52.6	78.9	47.4	47.4	94.7	15.8	57.9	73.7	5.3	57.9	63.2	

※n=0は非表示

※「全体」と比較して 5pt 以上高い

10pt 以上低い

魅力を感じる・計＝「とても魅力を感じる」＋「ある程度魅力を感じる」

富山県立大学情報工学系大学院への受験希望・入学希望

▶データサイエンス専攻

- 富山県立大学大学院情報工学研究科データサイエンス専攻への受験希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者では「第一志望として受験」は20.7%（第一志望受験希望・計）
 - 希望進路×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者では20.4%が第一志望として受験を希望
 - 希望進路×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは21.3%が第一志望として受験を希望
- 入学希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者かつ第一志望受験希望者では、「入学する」が91.7%（入学希望・計）
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者では90.9%が合格した場合に入学を希望
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは90.0%が合格した場合に入学を希望

【9】新たな博士前期課程 情報工学研究科 データサイエンス専攻について、受験したいと思いますか。＊

		(単位：人)	第一志望 として受験	第二志望 として受験	第三志望 以降として 受験	受験しない	合計
		進学希望者					
全体			12	13	10	23	58
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年		9	3	7	10	29
	電気電子工学科 3年		0	2	1	9	12
	情報システム工学科 3年		3	8	2	4	17
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者		4	3	4	4	15
	公立大学志望者		11	12	9	22	54
設置者×学問分 野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり		10	10	8	19	47
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし		1	2	1	3	7

		(単位：%)	第一志望 として受験	第二志望 として受験	第三志望 以降として 受験	受験しない	第一志望 受験希望・計
		進学希望者					
全体		(n= 58)	20.7	22.4	17.2	39.7	20.7
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 29)	31.0	10.3	24.1	34.5	31.0
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	0.0	16.7	8.3	75.0	0.0
	情報システム工学科 3年	(n= 17)	17.6	47.1	11.8	23.5	17.6
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	(n= 15)	26.7	20.0	26.7	26.7	26.7
	公立大学志望者	(n= 54)	20.4	22.2	16.7	40.7	20.4
設置者×学問分 野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	(n= 47)	21.3	21.3	17.0	40.4	21.3
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	(n= 7)	14.3	28.6	14.3	42.9	14.3

※n=0は非表示

該当する学問分野に興味あり = 「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

該当する学問分野に興味なし = 「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

第一志望受験希望・計 = 「第一志望として受験」

【10】新たな博士前期課程 情報工学研究科 データサイエンス専攻に合格した場合に入学を希望しますか。＊

(単位：人)		入学する	志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	入学しない	合計
進学希望者×第一志望受験希望者					
全体		11	1	0	12
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	9	0	0	9
	情報システム工学科 3年	2	1	0	3
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者	3	1	0	4
	公立大学志望者	10	1	0	11
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	9	1	0	10
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	1	0	0	1

(単位：％)		入学する	志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	入学しない	入学希望・計
進学希望者×第一志望受験希望者					
全体	(n= 12)	91.7	8.3	0.0	91.7
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 9)	100.0	0.0	100.0
	情報システム工学科 3年	(n= 3)	66.7	33.3	66.7
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者	(n= 4)	75.0	25.0	75.0
	公立大学志望者	(n= 11)	90.9	9.0	90.9
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	(n= 10)	90.0	10.0	90.0
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	(n= 1)	100.0	0.0	100.0

※n=0は非表示

該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

入学希望・計＝「入学する」

▶情報システム工学専攻

- 富山県立大学大学院情報工学研究科情報システム工学専攻への受験希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者では「第一志望として受験」は29.3%（第一志望受験希望・計）
 - 希望進路×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者では31.5%が第一志望として受験を希望
 - 希望進路×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは34.0%が第一志望として受験を希望
- 入学希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者かつ第一志望受験希望者では、「入学する」が94.1%（入学希望・計）
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者では94.1%が合格した場合に入学を希望
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは93.8%が合格した場合に入学を希望

【9】新たな博士前期課程 情報工学研究科 情報システム工学専攻について、受験したいと思いますか。＊

		(単位：人)	第一志望として受験	第二志望として受験	第三志望以降として受験	受験しない	合計
		進学希望者					
全体			17	9	11	21	58
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年		2	7	8	12	29
	電気電子工学科 3年		0	0	3	9	12
	情報システム工学科 3年		15	2	0	0	17
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者		4	3	5	3	15
	公立大学志望者		17	9	8	20	54
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり		16	8	5	18	47
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし		1	1	3	2	7

		(単位：%)	第一志望として受験	第二志望として受験	第三志望以降として受験	受験しない	第一志望受験希望・計
		進学希望者					
全体		(n= 58)	29.3	15.5	19.0	36.2	29.3
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 29)	6.9	24.1	27.6	41.4	6.9
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	0.0	25.0	75.0		0.0
	情報システム工学科 3年	(n= 17)		88.2		11.8	88.2
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者	(n= 15)	26.7	20.0	33.3	20.0	26.7
	公立大学志望者	(n= 54)	31.5	16.7	14.8	37.0	31.5
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	(n= 47)	34.0	17.0	10.6	38.3	34.0
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	(n= 7)	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3

※n=0は非表示

該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

第一志望受験希望・計＝「第一志望として受験」

【10】新たな博士前期課程 情報工学研究科 情報システム工学専攻に合格した場合に入学を希望しますか。＊

(単位：人)		入学する	志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	入学しない	合計
進学希望者×第一志望受験希望者					
全体		16	1	0	17
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	2	0	0	2
	情報システム工学科 3年	14	1	0	15
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者	3	1	0	4
	公立大学志望者	16	1	0	17
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	15	1	0	16
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	1	0	0	1

(単位：％)			入学する	志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	入学しない	入学希望・計
進学希望者×第一志望受験希望者						
全体			(n= 17)	94.1	5.0	94.1
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 2)	100.0	0.0	0.0	100.0
	情報システム工学科 3年					93.3
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者	(n= 4)	75.0	25.0	0.0	75.0
	公立大学志望者	(n= 17)	94.1	5.0	0.0	94.1
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	(n= 16)	93.8	6.2	0.0	93.8
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	(n= 1)	100.0	0.0	0.0	100.0

※n=0は非表示

該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

入学希望・計＝「入学する」

▶知能ロボット工学専攻

- 富山県立大学大学院情報工学研究科知能ロボット工学専攻への受験希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者では「第一志望として受験」は31.0%（第一志望受験希望・計）
 - 希望進路×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者では31.5%が第一志望として受験を希望
 - 希望進路×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは31.5%が第一志望として受験を希望
- 入学希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者かつ第一志望受験希望者では、「入学する」が94.4%（入学希望・計）
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者では94.1%が合格した場合に入学を希望
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは94.1%が合格した場合に入学を希望

【9】新たな博士前期課程 情報工学研究科 知能ロボット工学専攻について、受験したいと思いますか。＊

		(単位：人)	第一志望として受験	第二志望として受験	第三志望以降として受験	受験しない	合計
		進学希望者					
全体			18	4	12	24	58
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年		18	2	3	6	29
	電気電子工学科 3年		0	1	0	11	12
	情報システム工学科 3年		0	1	9	7	17
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者		5	2	4	4	15
	公立大学志望者		17	3	11	23	54
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり		17	3	11	23	54

		(単位：％)	第一志望として受験	第二志望として受験	第三志望以降として受験	受験しない	第一志望受験希望・計
		進学希望者					
全体		(n= 58)	31.0	6.9	20.7	41.4	31.0
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 29)	62.1	6.9	10.3	20.7	62.1
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	0.0	8.3	0.0	91.7	0.0
	情報システム工学科 3年	(n= 17)	0.0	5.9	52.9	41.2	0.0
志望する大学院の設置者別	国立大学志望者	(n= 15)	33.3	13.3	26.7	26.7	33.3
	公立大学志望者	(n= 54)	31.5	5.6	20.4	42.6	31.5
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	(n= 54)	31.5	5.6	20.4	42.6	31.5

※n=0は非表示
該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者
該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して
5pt 以上高い
10pt 以上低い
第一志望受験希望・計＝「第一志望として受験」

【10】新たな博士前期課程 情報工学研究科 知能ロボット工学専攻に合格した場合に入学を希望しますか。＊

(単位：人)		入学する	志望順位 が上位の 他の専攻 等が不 合格の場 合に入 学	入学しな い	合計
進学希望者×第一志望受験希望者					
全体		17	1	0	18
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	17	1	0	18
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	4	1	0	5
	公立大学志望者	16	1	0	17
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	16	1	0	17

(単位：％)		入学する	志望順位 が上位の 他の専攻 等が不 合格の場 合に入 学	入学しな い	入学希 望・計
進学希望者×第一志望受験希望者					
全体	(n= 18)	94.4	5.6	0.0	94.4
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	94.4	5.6	0.0	94.4
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	80.0	20.0	0.0	80.0
	公立大学志望者	94.1	5.9	0.0	94.1
設置者×学問分野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	94.1	5.9	0.0	94.1

※n=0は非表示

該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

入学希望・計＝「入学する」

▶電気電子工学専攻

- 富山県立大学大学院工学研究科電気電子工学専攻への受験希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者では「第一志望として受験」は22.4%（第一志望受験希望・計）
 - 希望進路×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者では22.2%が第一志望として受験を希望
 - 希望進路×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは23.4%が第一志望として受験を希望
- 入学希望を尋ねたところ、博士前期課程進学希望者かつ第一志望受験希望者では、「入学する」が100%（入学希望・計）。
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者では100%が合格した場合に入学を希望
 - 希望進路×受験希望×志望する大学院の設置者×学問分野別にみると、博士前期課程進学希望者×第一志望受験希望者×公立大学志望者×専攻に該当する学問分野に興味ありでは100%が合格した場合に入学を希望

【9】新たな博士前期課程 工学研究科 電気電子工学専攻について、受験したいと思いますか。＊

		(単位：人)	第一志望 として受験	第二志望 として受験	第三志望 以降として 受験	受験しない	合計
		進学希望者					
全体			13	5	9	31	58
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年		1	3	3	22	29
	電気電子工学科 3年		12	0	0	0	12
	情報システム工学科 3年		0	2	6	9	17
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者		2	2	4	7	15
	公立大学志望者		12	5	8	29	54
設置者×学問分 野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり		11	4	8	24	47
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし		1	1	0	5	7

		(単位：%)	第一志望 として受験	第二志望 として受験	第三志望 以降として 受験	受験しない	第一志望 受験希望・計
		進学希望者					
全体		(n= 58)	22.4	8.6	15.5	53.4	22.4
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 29)	3.4	10.3	10.3	75.9	3.4
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	情報システム工学科 3年	(n= 17)	0.0	11.8	35.3	52.9	0.0
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	(n= 15)	13.3	13.3	26.7	46.7	13.3
	公立大学志望者	(n= 54)	22.2	9.3	14.8	53.7	22.2
設置者×学問分 野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	(n= 47)	23.4	8.5	17.0	51.1	23.4
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	(n= 7)	14.3	14.3	0.0	71.4	14.3

※n=0は非表示

該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

第一志望受験希望・計＝「第一志望として受験」

【10】新たな博士前期課程 工学研究科 電気電子工学専攻に合格した場合に入学を希望しますか。＊

(単位：人)		入学する	志望順位 が上位の 他の専攻 等が不合 格の場合 に入学	入学しな い	合計
進学希望者×第一志望受験希望者					
全体		13	0	0	13
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	1	0	0	1
	電気電子工学科 3年	12	0	0	12
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	2	0	0	2
	公立大学志望者	12	0	0	12
設置者×学問分 野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	11	0	0	11
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	1	0	0	1

(単位：％)		入学する	志望順位 が上位の 他の専攻 等が不合 格の場合 に入学	入学しな い	入学希 望・計
進学希望者×第一志望受験希望者					
全体	(n= 13)	100.0	0.0	0.0	100.0
学科・学年別	知能ロボット工学科 3年	(n= 1)	100.0	0.0	100.0
	電気電子工学科 3年	(n= 12)	100.0	0.0	100.0
志望する大学院 の設置者別	国立大学志望者	(n= 2)	100.0	0.0	100.0
	公立大学志望者	(n= 12)	100.0	0.0	100.0
設置者×学問分 野別	公立大学志望者×該当する学問分野に興味あり	(n= 11)	100.0	0.0	100.0
	公立大学志望者×該当する学問分野に興味なし	(n= 1)	100.0	0.0	100.0

※n=0は非表示

該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

※「全体」と比較して

5pt 以上高い

10pt 以上低い

入学希望・計＝「入学する」

受験希望者数・入学希望者数

回答者全体 115人のうち

①博士前期課程への進学を希望する者は

58人 全体の50.4%

② ①のうち、設置者「公立」を志望する者は

54人 全体の47.0%

▶富山県立大学大学院情報工学研究科データサイエンス専攻

③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電気通信工学」「その他工学」のいずれかに興味のある者は

47人 全体の40.9%

④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は

10人 全体の8.7%

⑤ ④のうち、入学を希望する者は

9人 全体の7.8%

富山県立大学大学院情報工学研究科データサイエンス専攻では、
入学希望者数が予定入学定員数14人に対し9人(64.3%)

富山県立大学大学院情報工学研究科データサイエンス専攻 入学希望者数（内訳）

専攻に該当する学問分野に興味あり回答者数 (電気通信工学、その他工学に興味あり)	47人
受験希望者数 (第一志望受験希望・計＝第一志望として受験する)	10人
入学希望者数 (入学希望・計)＝入学する)	9人
入学定員（予定）	14人

▶富山県立大学大学院情報工学研究科情報システム工学専攻

③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電気通信工学」「その他工学」のいずれかに興味の

ある者は 47人 全体の40.9%

④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は 16人 全体の13.9%

⑤ ④のうち、入学を希望する者は 15人 全体の13.0%

富山県立大学大学院情報工学研究科情報システム工学専攻では、
入学希望者数が予定入学定員数の24人に対し15人(62.5%)

富山県立大学大学院情報工学研究科情報システム工学専攻 入学希望者数（内訳）

専攻に該当する学問分野に興味あり回答者数 (電気通信工学、その他工学に興味あり)	47人
受験希望者数 (第一志望受験希望・計＝第一志望として受験する)	16人
入学希望者数 (入学希望・計)＝入学する)	15人
入学定員（予定）	24人

▶富山県立大学大学院情報工学研究科知能ロボット工学専攻

③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電気通信工学」「機械工学」「その他工学」のいずれ

かに興味のある者は 54人 全体の47.0%

④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は 17人 全体の14.8%

⑤ ④のうち、入学を希望する者は 16人 全体の13.9%

富山県立大学大学院情報工学研究科知能ロボット工学専攻では、
入学希望者数が予定入学定員数24人に対し16人(66.7%)

富山県立大学大学院情報工学研究科知能ロボット工学専攻 入学希望者数（内訳）

専攻に該当する学問分野に興味あり回答者数 (電気通信工学、機械工学、その他工学に興味あり)	54人
受験希望者数 (第一志望受験希望・計＝第一志望として受験する)	17人
入学希望者数 (入学希望・計)＝入学する)	16人
入学定員（予定）	24人

▶富山県立大学大学院工学研究科電気電子工学専攻

③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電気通信工学」「その他工学」のいずれかに興味の

ある者は

47人 全体の40.9%

④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は

11人 全体の 9.6%

⑤ ④のうち、入学を希望する者は

11人 全体の 9.6%

富山県立大学大学院工学研究科電気電子工学専攻では、
入学希望者数が予定入学定員数の15人に対し11人(73.3%)

富山県立大学大学院工学研究科電気電子工学専攻 入学希望者数（内訳）

専攻に該当する学問分野に興味あり回答者数 (電気通信工学、その他工学に興味あり)	47人
受験希望者数 (第一志望受験希望・計＝第一志望として受験する)	11人
入学希望者数 (入学希望・計)＝入学する)	11人
入学定員（予定）	15人

学生アンケート分析結果

進学需要調査アンケート集計結果【博士前期課程】

<アンケート設問> *回答必須

- 【問2】あなたは、学部卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。*
- (回答選択肢) 博士前期課程へ進学、就職、その他
- 【問3】志望する大学院は、次のどれですか。(複数選択可)*
- (回答選択肢) 国立、公立、私立
- 【問4】興味のある学問分野を選択してください。(複数選択可)*
- (回答選択肢)
- ・電気通信工学(情報工学、情報システム工学、知能ロボット工学、電気電子工学など)
 - ・機械工学(知能機械システム工学、精密工学、ロボット・メカトロニクスシステム、メカノマイクロ工学など)
 - ・その他の工学(情報・データサイエンス)
 - ・上記以外(工学系以外の学問分野も含む)
- 【問9】新たな博士前期課程 情報工学研究科 各専攻について、受験したいと思いますか。*
- (回答選択肢) 第一志望として受験、第二志望として受験、第三志望以降として受験、受験しない
- 【問10】新たな博士前期課程 情報工学研究科 各専攻に合格した場合に入学を希望しますか。*
- (回答選択肢) 入学する、志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学、入学しない

<アンケート回答クロス集計結果>

問2	問3	回答数
博士前期課程へ進学	公立大学志望	54
	公立大学非志望	4
就職		52
その他		5
合計		115

公立大学志望 = 「公立」を選択する者

公立大学非志望 = 「公立」を選択しない者

▶データサイエンス専攻

問2	問3	問4	問9	問10	回答数
博士前期課程へ進学	公立大学志望	専攻に該当する学問分野に興味あり	第一志望として受験	入学する	9
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	1
				入学しない	0
			第二志望として受験	入学する	1
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	9
				入学しない	0
		専攻に該当する学問分野に興味なし	第三志望以降として受験		8
			受験しない		19
合計					54

専攻に該当する学問分野に興味あり = 「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

専攻に該当する学問分野に興味なし = 「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

▶情報システム工学専攻

問2	問3	問4	問9	問10	回答数
博士前期課程へ進学	公立大学志望	専攻に該当する学問分野に興味あり	第一志望として受験	入学する	15
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	1
				入学しない	0
			第二志望として受験	入学する	2
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	6
				入学しない	0
		専攻に該当する学問分野に興味なし	第三志望以降として受験		5
			受験しない		18
合計					54

専攻に該当する学問分野に興味あり = 「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

専攻に該当する学問分野に興味なし = 「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

▶知能ロボット工学専攻

問2	問3	問4	問9	問10	回答数
博士前期課程へ進学	公立大学志望	専攻に該当する学問分野に興味あり	第一志望として受験	入学する	16
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	1
				入学しない	0
			第二志望として受験	入学する	0
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	2
				入学しない	1
		専攻に該当する学問分野に興味なし	第三志望以降として受験		11
			受験しない		23
合計					54

専攻に該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

専攻に該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

▶電気電子工学専攻

問2	問3	問4	問9	問10	回答数
博士前期課程へ進学	公立大学志望	専攻に該当する学問分野に興味あり	第一志望として受験	入学する	11
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	0
				入学しない	0
			第二志望として受験	入学する	1
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	3
				入学しない	0
		専攻に該当する学問分野に興味なし	第三志望以降として受験		8
			受験しない		24
合計					54

専攻に該当する学問分野に興味あり＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

専攻に該当する学問分野に興味なし＝「電気通信工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

大学院の教育研究に関する意見・要望

- よくある質問に対する先輩方の答えがなんだかんだ1番参考になる気がする。

(情報システム工学科 3年 / 博士前期課程へ進学 / 公立 / データサイエンス専攻:入学しない / 情報システム工学専攻:入学する / 知能ロボット工学専攻:入学しない / 電気電子工学専攻:入学しない)

- 推薦入試を受ける資格を取るためにはどうすればいいのか。また、推薦入試を受けるものは、どのような基準に基づいて判断されるのか。

(知能ロボット工学科 3年 / 博士前期課程へ進学 / 国立 / データサイエンス専攻:入学する / 情報システム工学専攻:入学しない / 知能ロボット工学専攻:志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学する / 電気電子工学専攻:入学しない)

<調査結果>

【博士後期課程】

本書に記載する情報工学研究科及び各専攻の名称はすべて仮称です。

回答者プロフィール

- 回答者の現在の専攻、学年は、

知能ロボット工学専攻 1年 41.3%

電子・情報工学専攻 1年 58.7%

【1】現在の専攻、学年を教えてください。＊

(単位：人)		知能ロボット工学専攻 1年	電子・情報工学専攻 1年	合計
回答者				
全体		19	27	46

(単位：%)		知能ロボット工学専攻 1年	電子・情報工学専攻 1年
回答者			
全体	(n= 46)	41.3	58.7

<進路検討状況>博士前期課程修了後の希望進路

- 博士前期課程修了後に希望する進路を尋ねたところ、「博士後期課程へ進学」を希望する者は0.0%

【2】あなたは、博士前期課程修了後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。＊

(単位：人)		博士後期 課程へ進 学	就職	その他	合計
回答者					
全体		0	45	1	46
学科・学年別	知能ロボット工学専攻 1年	0	18	1	19
	電子・情報工学専攻 1年	0	27	0	27

		(単位：％)	博士後期 課程へ進 学	就職	その他	進学希 望・計	進学非希 望・計
		回答者					
全体		(n= 46)	0.0	97.8	2.2	0.0	100.0
学科・学年別	知能ロボット工学専攻 1年	(n= 19)	0.0	94.7	5.3	0.0	100.0
	電子・情報工学専攻 1年	(n= 27)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

※「全体」と比較して 5pt 以上高い
10pt 以上低い

進学希望・計＝「博士後期課程へ進学」を選択する者
進学非希望・計＝「博士後期課程へ進学」を選択しない者

受験希望者数・入学希望者数

回答者全体 46人のうち

①博士後期課程への進学を希望する者は

0人 全体の0.0%

② ①のうち、設置者「公立」を志望する者は

0人 全体の0.0%

▶富山県立大学大学院情報工学研究科情報工学専攻

③ ②のうち、専攻に該当する学問分野「電気通信工学」「機械工学」「その他工学」のいずれかに興味のある者は

0人 全体の0.0%

④ ③のうち、第一志望として受験を希望する者は

0人 全体の0.0%

⑤ ④のうち、入学を希望する者は

0人 全体の0.0%

富山県立大学大学院情報工学研究科情報工学専攻では、
入学希望者数が予定入学定員数4人に対し0人(0.0%)

富山県立大学大学院情報工学研究科情報工学専攻 入学希望者数（内訳）

専攻に該当する学問分野に興味あり回答者数 (電気通信工学、その他工学に興味あり)	0人
受験希望者数 (第一志望受験希望・計＝第一志望として受験する)	0人
入学希望者数 (入学希望・計)＝入学する)	0人
入学定員（予定）	4人

学生アンケート分析結果

進学需要調査アンケート集計結果【博士後期課程】

<アンケート設問> *回答必須

- 【問2】あなたは、博士前期課程修了後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。*
 (回答選択肢) 博士後期課程へ進学、就職、その他
- 【問3】志望する大学院は、次のどれですか。(複数選択可)*
 (回答選択肢) 国立、公立、私立
- 【問4】興味のある工学系学問分野を選択してください。(複数選択可)*
 (回答選択肢)
 ・電気通信工学(情報工学、情報システム工学、知能ロボット工学、電気電子工学など)
 ・機械工学(知能機械システム工学、精密工学、ロボット・メカトロニクスシステム、メカノマイクロ工学など)
 ・その他の工学(情報・データサイエンス)
 ・上記以外(工学系以外の学問分野も含む)
- 【問6】新たな博士後期課程 情報工学研究科 情報工学専攻の受験を希望しますか。*
 (回答選択肢) 第一志望として受験、第二志望として受験、第三志望以降として受験、受験しない
- 【問7】新たな博士後期課程 情報工学研究科 情報工学専攻に合格した場合に入学を希望しますか。*
 (回答選択肢) 入学する、志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学、入学しない

<アンケート回答クロス集計結果>

問2	問3	回答数
博士後期課程へ進学	公立大学志望	0
	公立大学非志望	0
就職		45
その他		1
合計		46

公立大学志望 = 「公立」を選択する者

公立大学非志望 = 「公立」を選択しない者

▶情報工学専攻

問2	問3	問4	問9	問10	回答数
博士後期課程へ進学	公立大学志望	専攻に該当する学問分野に興味あり	第一志望として受験	入学する	0
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	0
				入学しない	0
			第二志望として受験	入学する	0
				志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学	0
				入学しない	0
		専攻に該当する学問分野に興味なし	第三志望以降として受験		0
			受験しない		0
					0
					0
合計					0

専攻に該当する学問分野に興味あり = 「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれかを選択する者

専攻に該当する学問分野に興味なし = 「電気通信工学」「機械工学」「その他の工学」のいずれも選択しない者

大学院の教育研究に関する意見・要望

- 情報系学部への投資が多いのは理解できるが他学部との格差を感じる。
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)
- 学会の会員費や交通費などを負担してほしい。
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)
- 新しい専攻が生まれても、工学という名前が付くのであれば、大衆にとって有益な技術開発につながる研究がされるべきだと思う。
(知能ロボット工学専攻 1年 / 就職)
- 学会発表準備に時間を費やしたいため、修了に必要な大学院科目の単位数を減らしてほしい。自身の研究テーマに関する講義のみを取れば十分、となるくらいの単位数に設定してほしい。
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)
- OISTを見習って生活費を支給してほしい。
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)
- 就活の早期化の影響で、大学院の講義と就職活動のスケジュールが重なることが多く、忙しさで研究活動まで手が回らなくなることがありました。講義課題の負担をもう少し減らしても良いと感じます。
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)
- 中間発表や修士論文の提出などの日程は早めに教えていただきたいです。
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)
- 修論の提出期限は早めに教えてください。
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)
- 休学年数を増やしてほしいです！
(電子・情報工学専攻 1年 / 就職)

<調査票・提示資料>

調査票

▶博士前期課程の進学需要調査

令和8年4月 情報工学系大学院を設置・再編予定です。知能ロボット工学科、電気電子工学科、情報システム工学科3年生の皆様 アンケートへのご協力をお願いします。

質問5以降で挙げている情報工学研究科及び各専攻の名称はすべて仮称です。

* 必須

1

現在の学科、学年を教えてください。*

- ☐ 知能ロボット工学科 3年
- ☐ 電気電子工学科 3年
- ☐ 情報システム工学科 3年

2

あなたは、学部卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。*

- ☐ 博士前期課程へ進学
- ☐ 就職
- ☐ その他

3

志望する大学院は、次のどれですか。(複数選択可)*

【参考】類似する大学院	
富山大学 大学院 理工学研究科	
愛知学院大学 大学院 情報科学研究科	

富山県立大学 入学科・授業料		
入学科	富山県内住所	188,000円
	富山県以外住所	282,000円
授業料	(年額) ①+②	535,800円
	①5月納付金	267,900円
	②11月納付金	267,900円

※本学大学院1学期3単位以上の履修を終了し、引き続き博士前期課程に進学する者については入学料は不要

- ☐ 国立
- ☐ 公立
- ☐ 私立

4

興味のある工学系学問分野を選択してください。（複数選択可）*

- ☐ 電気通信工学（情報工学、情報システム工学、知能ロボット工学、電気電子工学など）
- ☐ 機械工学（知能機械システム工学、精密工学、ロボット・メカトロニクスシステム、メカノマイクロ工学など）
- ☐ その他の工学（情報・データサイエンス）
- ☐ 上記以外（工学系以外の学問分野も含む）

5

ここからは、R8.4に新設予定の富山県立大学大学院 博士前期課程の各専攻についてお伺いします。
情報工学研究科（データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻）
工学研究科（電気電子工学専攻）

情報工学研究科 データサイエンス専攻の印象について*

データサイエンス専攻の特色 情報工学を基盤とするデータサイエンスの先進的な数理的理論やデータ分析法を教育し、革新的な技術開発により新たな価値を創造する能力を備えた人材を育成します。さらに、応用実践を通して、主体性や協調性を涵養し、グローバルに活躍できる創造性豊かな人材を育成することを目的とします。人を包含する広範な「システム」に内在する情報の処理・利活用のためのデータ応用技術や、数理にもとづいた先進・融合的で汎用的なデータ分析基盤の創出、人が中心となる先進的なインタフェース技術の開発に関する研究を行っています。

とても魅力を感じる ある程度魅力を感じる あまり魅力を感じない まったく魅力を感じない

データサイエンス専攻

○○○○

6

情報工学研究科 情報システム工学専攻の印象について*

情報システム工学専攻の特色 技術革新を支える情報システムの分野に関する教育・研究を行うことで、創造性と柔軟性を持ちながら幅広い知識を総合的に活用し、人々や人工知能と協力して社会の幸福の向上に貢献できる人材を養成します。理論の追求と地域への実践を志向し、センサ利用技術・ソフトウェア応用技術による高度な情報システムや、人の行動認識・変容技術、3次元情報取得技術などを学び、VRやアレイグジスタンスなどの分野で現実と仮想世界のデータ解析・提示に取り組みます。

とても魅力を感じる ある程度魅力を感じる あまり魅力を感じない まったく魅力を感じない

情報システム工学専攻

○○○○

7

情報工学研究科 知能ロボット工学専攻の印象について*

知能ロボット工学専攻の特色 機械工学、電子工学、情報工学のいずれかを基盤に、これらを統合して革新的なロボット学研究をリードする教育・研究を行います。産業界が求める最先端スキルに加え、異なる学問領域との交流を通じて広い視野を養い、地域とグローバル社会の双方に貢献できる人材を育成します。情報技術やAIを駆使し、社会と共存する賢いロボットの開発、知的インタフェースによるユーザー体験の革新、精密工学を支える計測と加工技術の開発、最先端の電子デバイスの設計や開発に貢献できる人材を目指しています。

とても魅力を感じる ある程度魅力を感じる あまり魅力を感じない まったく魅力を感じない

知能ロボット工学専攻

○○○○

8

工学研究科 電気電子工学専攻の印象について*

電気電子工学専攻の特色 現代社会を支える高度なハードウェアやシステムに関する教育研究を行い、幅広い知識及びそれらを総合する能力を有し、創造性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる人材を養成します。特色として、現代社会になくはない電気電子分野である半導体、パワーエレクトロニクス、集積回路、デバイス材料、光波計測、電磁波応用、システム制御やネットワークを専門とする各教員が、それぞれの分野の技術や研究内容について、基礎的な事項から丁寧に講義するとともに実際の社会への応用例を紹介します。

とても魅力を感じる ある程度魅力を感じる あまり魅力を感じない まったく魅力を感じない

電気電子工学専攻	☐	☐	☐	☐
----------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

9

新たな博士前期課程 各専攻について、受験したいと思いますか。

情報工学研究科（データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻）
工学研究科（電気電子工学専攻）*

第一志望として受験する 第二志望として受験する 第三志望以降として受験する 受験しない

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する	受験しない
データサイエンス専攻	☐	☐	☐	☐
情報システム工学専攻	☐	☐	☐	☐
知能ロボット工学専攻	☐	☐	☐	☐
電気電子工学専攻	☐	☐	☐	☐

10

新たな博士前期課程 各専攻に合格した場合に入学を希望しますか。

情報工学研究科（データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻）
工学研究科（電気電子工学専攻）

*

入学する 志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学する 入学しない

	入学する	志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学する	入学しない
データサイエンス専攻	☐	☐	☐
情報システム工学専攻	☐	☐	☐
知能ロボット工学専攻	☐	☐	☐
電気電子工学専攻	☐	☐	☐

11

大学院の教育研究に関してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。（自由回答）

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

▶博士後期課程の進学需要調査

令和8年4月 情報工学系大学院を設置・再編予定です。博士前期課程の知能ロボット工学専攻、電子・情報工学専攻1年生の皆様にはアンケートへのご協力をお願いします。



質問の中で挙げている情報工学研究科及び情報工学専攻の名称は仮称です。

* 必須

1

現在の専攻、学年を教えてください。*

- ☐ 知能ロボット工学専攻 1年
- ☐ 電子・情報工学専攻 1年

2

あなたは、博士前期課程修了後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。

- ☐ 博士後期課程へ進学
- ☐ 就職
- ☐ その他

3

志望する大学院は、次のどれですか。（複数選択可）*

【参考】類似する大学院	
富山大学 大学院 理工学研究科	
愛知学院大学 大学院 情報科学部研究科	

富山県立大学 入学科・授業料		
入学科	富山県立大学の専攻	188,000円
	富山県立大学の専攻	282,000円
授業料	(※) ①+②	535,000円
	①5月納付金	267,900円
	②11月納付金	267,900円

※本学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学料は不要

- ☐ 国立
- ☐ 公立
- ☐ 私立

4

興味のある工学系学問分野を選択してください。（複数選択可）＊

- ☐ 電気通信工学（情報工学、情報システム工学、知能ロボット工学、電気電子工学など）
- ☐ 機械工学（知能機械システム工学、精密工学、ロボット・メカトロニクスシステム、メカノマイクロ工学など）
- ☐ その他の工学（情報・データサイエンス）
- ☐ 上記以外（工学系以外の学問分野も含む）

5

ここからは、R8.4に新設予定の富山県立大学大学院 博士後期課程 情報工学研究科 情報工学専攻についてお伺いします。＊

情報工学専攻の特色 急激に変化し多様化する地域や国際社会が直面する諸問題に対して課題設定ができ、その解決策の立案と遂行能力を有する人材を養成します。データサイエンス、情報システム工学、及び知能ロボット工学の学問分野の先進的な教育研究を行い、各専門領域の高い学識を身につけ、情報工学の発展及び社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。また、本学の特徴を活かした工学研究科及び看護学研究科との連携によって、情報工学に加え広く工学や看護学の先進的な研究内容を教授する「分野横断型特別講義」を開講し、学生の研究者としての知見を広げます。

とても魅力を感じる ある程度魅力を感じる あまり魅力を感じない まったく魅力を感じない

情報工学研究科
情報工学専攻



6

新たな博士後期課程 情報工学研究科 情報工学専攻の受験を希望しますか。＊

- ☐ 第一志望として受験する
- ☐ 第二志望として受験する
- ☐ 第三志望以降として受験する
- ☐ 受験しない

7

新たな博士後期課程 情報工学研究科 情報工学専攻に合格した場合に入学を希望しますか。＊

- ☐ 入学する
- ☐ 志望順位が上位の他の専攻等が不合格の場合に入学する
- ☐ 入学しない

8

大学院の教育研究に関してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。（自由回答）

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。



令和8年4月 情報工学系大学院を設置・再編予定！

博士前期課程

工学研究科

機械システム工学専攻
知能ロボット工学専攻
電子・情報工学専攻
環境・社会基盤工学専攻
生物・医薬品工学専攻

設置・再編後（R8.4.1）

NEW

情報工学研究科（仮称）
入学定員 62名

データサイエンス専攻（仮称） 14名

情報システム工学専攻（仮称） 24名

知能ロボット工学専攻（仮称） 24名

工 学 研 究 科
入学定員 84名

機械システム工学専攻 24名

NEW

電気電子工学専攻（仮称） 15名

環境・社会基盤工学専攻 15名

生物・医薬品工学専攻 30名

博士後期課程

工学研究科

総合工学専攻

設置・再編後（R8.4.1）

NEW

情報工学研究科（仮称）
入学定員 4名

情報工学専攻（仮称） 4名

工 学 研 究 科
入学定員 6名

総合工学専攻 6名



公立大学法人
富山県立大学

<https://www.pu-toyama.ac.jp/>

- 学生確保(資料)- 51 -

各専攻の特色

博士前期課程

情報工学研究科(仮称)

データサイエンス専攻
(仮称)

情報工学を基盤とするデータサイエンスの先進的な数理的理論やデータ分析法を教育し、革新的な技術開発により新たな価値を創造する能力を備えた人材を育成します。さらに、応用実践を通して、主体性や協調性を涵養し、グローバルに活躍できる創造性豊かな人材を育成することを目的とします。人を包含する広範な「システム」に内在する情報の処理・利活用のためのデータ応用技術や、数理にもとづいた先進・融合的で汎用的なデータ分析基盤の創出、人が中心となる先進的なインタフェース技術の開発に関する研究を行っていきます。

情報システム工学専攻
(仮称)

技術革新を支える情報システムの分野に関する教育・研究を行うことで、創造性と柔軟性を持ちながら幅広い知識を総合的に活用し、人々と人工知能と協力して社会の幸福の向上に貢献できる人材を養成します。理論の追求と地域への実践を志向し、センサ利用技術・ソフトウェア応用技術による高度な情報システムや、人の行動認識・変容技術、VRやレイヴジスタンスなどの分野で現実と仮想世界のデータ解析・提示に取り組めます。

知能ロボット工学専攻
(仮称)

機械工学、電子工学、情報工学のいずれかを基盤に、これらを統合して革新的なロボット学をリードする教育・研究を行います。産業界が求める最先端スキルに加え、異なる学問領域との交流を通じて広い視野を養い、地域とグローバル社会の双方に貢献できる人材を育成します。情報技術やAIを駆使し、社会と共存する賢いロボットの開発、知的インタフェースによるユーザー体験の革新、精密工学を支える計測と加工技術の開発、最先端の電子デバイスの設計や開発に貢献できる人材を目指しています。

工学研究科

電気電子工学専攻
(仮称)

現代社会を支える高度なハードウェアやシステムに関する教育研究を行い、幅広い知識及びそれらを総合する能力を有し、創造性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる人材を養成します。特色として、現代社会になくならない電気電子分野である半導体、パワーエレクトロニクス、集積回路、デバイス材料、光波計測、電磁波応用、システム制御やネットワークを専門とする各教員が、それぞれの分野の技術や研究内容について、基礎的な事項から丁寧に講義するとともに実際の社会への応用例を紹介しています。

博士後期課程

情報工学研究科(仮称)

情報工学専攻(仮称)

急激に変化し多様化する地域や国際社会が直面する諸問題に対して課題設定ができ、その解決策の立案と遂行能力を有する人材を養成します。データサイエンス、情報システム工学、及び知能ロボット工学の学問分野の先端的な教育研究を行い、各専門領域の高い学識を身につけ、情報工学の発展及び社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。また、本学の特徴を活かした工学研究科及び看護学研究科との連携によって、情報工学に加え広く工学や看護学の先端的な研究内容を教授する「分野横断型特別講義」を開講し、学生の研究者としての知見を広げます。

選抜方法(予定)

※内容は予定ですので、必ず令和7年度以降に公表予定の「入学選抜要項」「学生募集要項」を確認してください。

博士前期課程			
試験区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
情報工学研究科	データサイエンス専攻	学力検査(口述試験、事前提出のTOEIC/TOEFLスコア)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。	
	情報システム工学専攻	学力検査(筆記試験、口述試験、事前提出のTOEIC/TOEFLスコア)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。	面接(口述試験を含む。)の結果及び成績証明書の内容等を総合判断して行う。
	知能ロボット工学専攻		
工学研究科	電気電子工学専攻	学力検査(筆記試験及び口述試験(面接を含む。))の結果及び成績証明書の内容等を総合判断して行う。	
博士後期課程			
試験区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
情報工学研究科	情報工学専攻	口述試験の結果及び成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。	

※学力検査の出題等についてはホームページを公表

※各専攻では、一般選抜において、事前の書類選考で受験資格を有すると認められた者を対象に「面接試験」による選抜を実施し、本学が認めた者には「学力検査(筆記試験、口述試験及び事前提出のTOEIC/TOEFLスコア)」を免除する。

お問合せ

富山県立大学事務局 経営企画課(大学院開設担当)

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

ホームページにアクセス!

[TEL] 0766-56-7500(代表) https://www.pu-toyama.ac.jp/g_information_engineering/

■ 構想概要(予定)

情報工学研究科

博士前期課程: 修業年数2年

データサイエンス専攻
情報システム工学専攻
知能ロボット工学専攻

修士(情報工学)又は修士(工学)

工学研究科

博士前期課程: 修業年数2年

電気電子工学専攻

修士(工学)

情報工学研究科

博士後期課程: 修業年数3年

情報工学専攻

博士(情報工学)又は博士(工学)

ACCESS Map(射水キャンパス)



※設置構想中のため、本内容は今後変更になることがあります。

富山県立大学 情報工学系大学院に関する 人材需要調査

【企業等への採用意向】

調査結果報告書

2025 年 2 月

一般財団法人 北陸経済研究所

目次

▶調査概要	3
▶調査結果	4
● サマリー	5
● 回答企業・団体のプロフィール	7
● <採用実績①> 過去3年間の平均採用者数	11
● <採用実績②> 過去3年間の大学院修了者の平均採用者数	12
● <採用予定> 2025年度の採用方針	13
● 情報工学研究科（博士前期課程）「データサイエンス専攻」の魅力度	14
● 情報工学研究科（博士前期課程）「情報システム工学専攻」の魅力度	15
● 情報工学研究科（博士前期課程）「知能ロボット工学専攻」の魅力度	16
● 工学研究科（博士前期課程）「電気電子工学専攻」の魅力度	17
● 情報工学研究科（博士後期課程）「情報工学専攻」の魅力度	18
● 富山県立大学大学院修了者の採用意向	19
● 採用意向人数（データサイエンス専攻）	20
● 採用意向人数（情報システム工学専攻）	21
● 採用意向人数（知能ロボット工学専攻）	22
● 採用意向人数（電気電子工学専攻）	23
● 採用意向人数（情報工学専攻）	24
● 大学院活用意向（データサイエンス専攻）	25
● 大学院活用意向（情報システム工学専攻）	26
● 大学院活用意向（知能ロボット工学専攻）	27
● 大学院活用意向（電気電子工学専攻）	28
● 大学院活用意向（情報工学専攻）	29
● 大学院教育についての意見・要望	30
▶調査票・提示資料	34

調査概要

▶調査目的

- 富山県立大学が計画している情報工学系大学院（情報工学研究科/博士前期課程「データサイエンス専攻」「情報システム工学専攻」「知能ロボット工学専攻」、工学研究科/博士前期課程「電気電子工学専攻」、情報工学研究科/博士後期課程「情報工学専攻」（研究科名・専攻名はすべて仮称）の設置について、周辺エリアを中心とした企業・団体にその必要性・修了生の採用意向・大学院活用意向をアンケート調査し、受容性を確認する。

▶調査対象と調査方法

- 富山県立大学研究協力会会員及び富山県内に事業所を持つ企業・団体
- 調査対象企業・団体に調査票を送付し、郵送またはインターネットで回答を回収

▶調査期間

- 2024年11月20日（水）～2024年12月19日（木）到着分まで

▶有効回答数

- 213社（有効回答率42.6%） 発送数500社に対し

▶調査機関

- 一般財団法人 北陸経済研究所

〈調査結果〉

サマリー①

- 過去3年間(2022～2024年度)の、1社あたりの平均採用者数は「1～9人」(77.5%)が最多
- 過去3年間(2022～2024年度)の採用のうち、1社あたりの大学院修了者の平均採用者数は「採用なし(0名)」(74.2%)が最多
- 2025年度の採用方針は「昨年度並み」(59.2%)が最多
- 各専攻の特色を踏まえた企業からの魅力度は
【情報工学研究科（博士前期課程）】
 - データサイエンス専攻 「魅力を感じる（計）」77.0%
 - 情報システム工学専攻 「魅力を感じる（計）」84.5%
 - 知能ロボット工学専攻 「魅力を感じる（計）」79.3%【工学研究科（博士前期課程）】
 - 電気電子工学専攻 「魅力を感じる（計）」79.8%【情報工学研究科（博士後期課程）】
 - 情報工学専攻 「魅力を感じる（計）」81.7%
- 大学院修了者に対する採用意向は、「採用したいと思う」が74.2%

サマリー②

- 富山県立大学の大学院修了者を「採用したいと思う」と回答した企業の、各専攻の採用意向人数は以下の通りで、いずれも各専攻の予定入学定員数を大きく上回る。

【情報工学研究科（博士前期課程）】

データサイエンス専攻 **125 名**（予定入学定員数は 14 名）

情報システム工学専攻 **152 名**（予定入学定員数は 24 名）

知能ロボット工学専攻 **149 名**（予定入学定員数は 24 名）

【工学研究科（博士前期課程）】

電気電子工学専攻 **163 名**（予定入学定員数は 15 名）

【情報工学研究科（博士後期課程）】

情報工学専攻 **140 名**（予定入学定員数は 4 名）

- 社員や職員の学び直しの場所としての、専攻別の大学院活用意向は

【情報工学研究科（博士前期課程）】

データサイエンス専攻 **「活用したい（計）」 50.7%**

情報システム工学専攻 **「活用したい（計）」 52.2%**

知能ロボット工学専攻 **「活用したい（計）」 45.1%**

【工学研究科（博士前期課程）】

電気電子工学専攻 **「活用したい（計）」 47.4%**

【情報工学研究科（博士後期課程）】

情報工学専攻 **「活用したい（計）」 46.0%**

回答企業・団体のプロフィール①

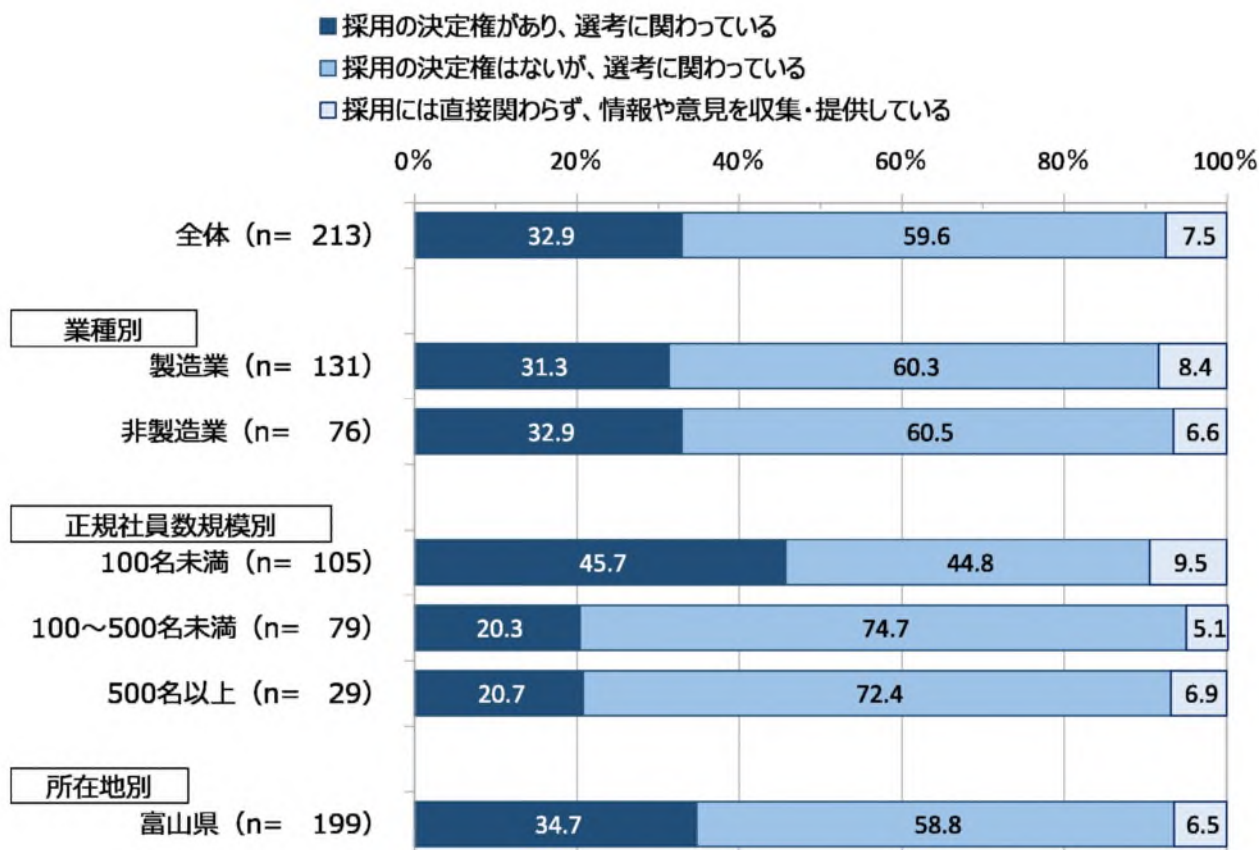
- ・回答者の人事採用の関与度は、「**採用の決定権があり、選考に関わっている**」人が**32.9%**、「**採用の決定権はないが、選考に関わっている**」人が**59.6%の合計 92.5%**。採用や選考に直接関わっている人事担当者からの意見がほぼ聞けていると考えられる。

問 1. このアンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度を教えてください。(1つに○)

(単位：社)			採用の決定権があり、 選考に関わっている	採用の決定権はないが、 選考に関わっている	採用には直接関わらず、 情報や意見を収集・ 提供している
全体 (n= 213)			70	127	16
業種別	製造業	(n= 131)	41	79	11
	非製造業	(n= 76)	25	46	5
正規社員数 規模別	100名未満	(n= 105)	48	47	10
	100～500名未満	(n= 79)	16	59	4
	500名以上	(n= 29)	6	21	2
所在地別	富山県	(n= 199)	69	117	13

※ n = 20未満は非表示

※選択肢のうち「その他」は回答なし



回答企業・団体のプロフィール②

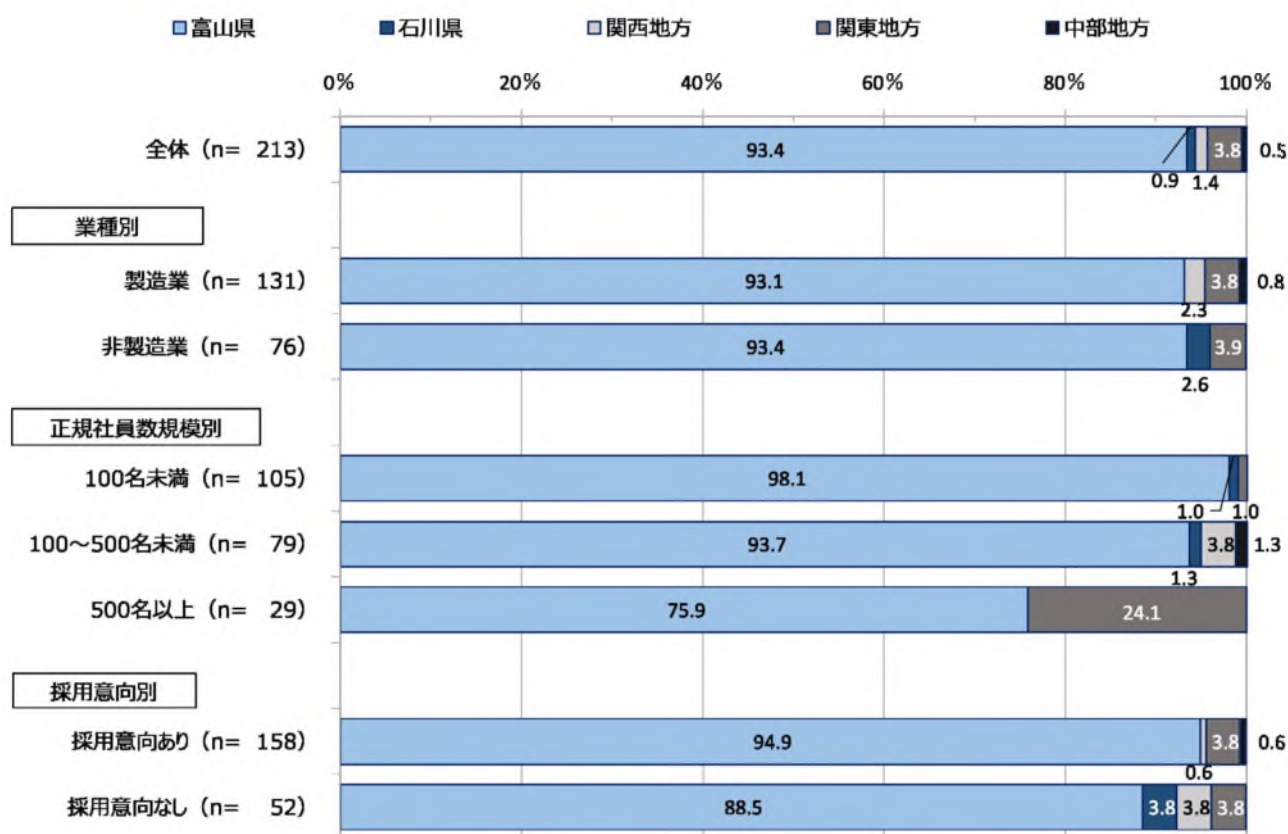
・回答企業等の**本社・本部の所在地は、「富山県」が93.4%。**

問2. 貴社・貴団体の本社（本部）の所在地を教えてください。（1つに○）

(単位：社)			富山県	石川県	関西地方	関東地方	中部地方	
全体			(n= 213)	199	2	3	8	1
業種別	製造業	(n= 131)	122	0	3	5	1	
	非製造業	(n= 76)	71	2	0	3	0	
正規社員数 規模別	100名未満	(n= 105)	103	1	0	1	0	
	100～500名未満	(n= 79)	74	1	3	0	1	
	500名以上	(n= 29)	22	0	0	7	0	
採用意向別	採用意向あり	(n= 158)	150	0	1	6	1	
	採用意向なし	(n= 52)	46	2	2	2	0	

※ n = 20未満は非表示

※選択肢のうち、「福井県」「その他」は回答なし



回答企業・団体のプロフィール③

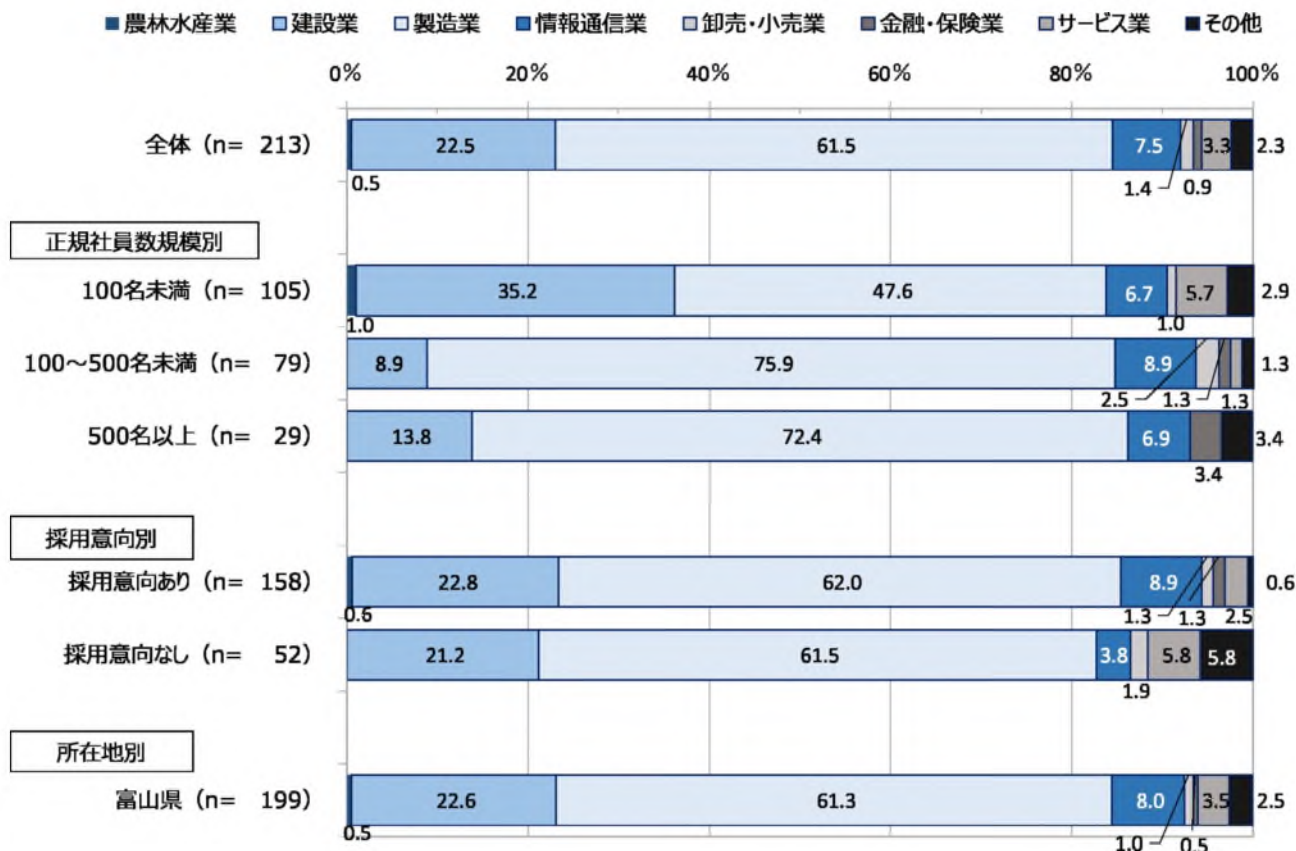
・回答企業等の業種は、「**製造業**」が**61.5%**で**最も多い**。次いで、「建設業」(22.5%)、「情報通信業」(7.5%)。

問3. 貴社・貴団体の業種を教えてください。(1つに○)

(単位：社)		農 林 水 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	サ ー ビ ス 業	そ の 他
全体	(n= 213)	1	48	131	16	3	2	7	5
正規社員数 規模別	100名未満 (n= 105)	1	37	50	7	1	0	6	3
	100～500名未満 (n= 79)	0	7	60	7	2	1	1	1
	500名以上 (n= 29)	0	4	21	2	0	1	0	1
採用意向別	採用意向あり (n= 158)	1	36	98	14	2	2	4	1
	採用意向なし (n= 52)	0	11	32	2	1	0	3	3
所在地別	富山県 (n= 199)	1	45	122	16	2	1	7	5

※ n = 20未満は非表示

※選択肢のうち、「電気・ガス・水道・熱供給業」「運輸業」「不動産業」「飲食・宿泊業」「医療・福祉業」「公務」は回答なし



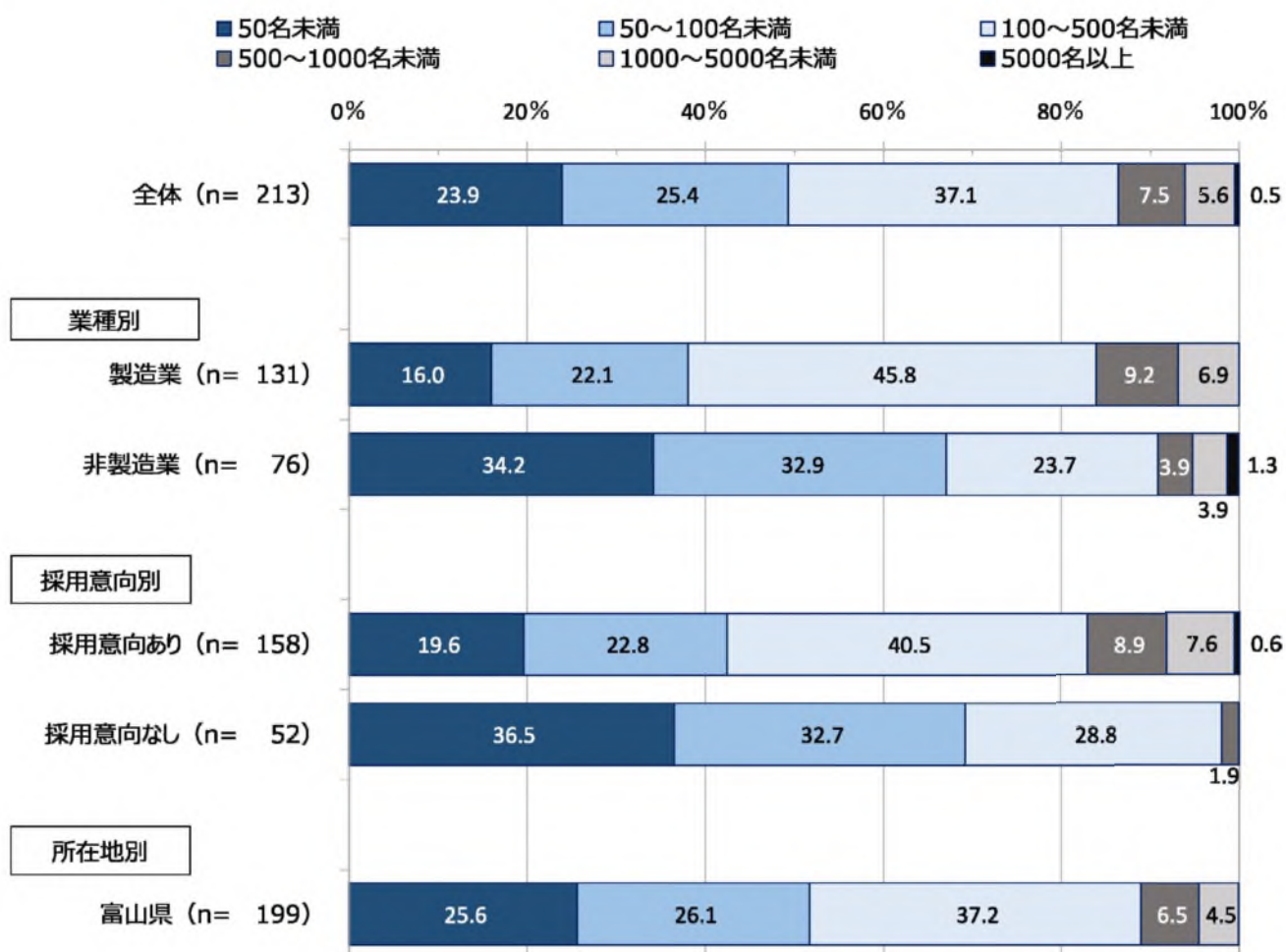
回答企業・団体のプロフィール④

- ・回答企業等の正規社員数規模は、「100～500名未満」が37.1%で最も多い。次いで、「50～100名未満」(25.4%)、「50名未満」(23.9%)。

問4. 貴社・貴団体の正規社員数を教えてください。(1つに○)

(単位：社)		50名未満	50～100名未満	100～500名未満	500～1000名未満	1000～5000名未満	5000名以上
全体 (n= 213)		51	54	79	16	12	1
業種別	製造業 (n= 131)	21	29	60	12	9	0
	非製造業 (n= 76)	26	25	18	3	3	1
採用意向別	採用意向あり (n= 158)	31	36	64	14	12	1
	採用意向なし (n= 52)	19	17	15	1	0	0
所在地別	富山県 (n= 199)	51	52	74	13	9	0

※ n = 20未満は非表示



＜採用実績①＞過去 3 年間の平均採用者数

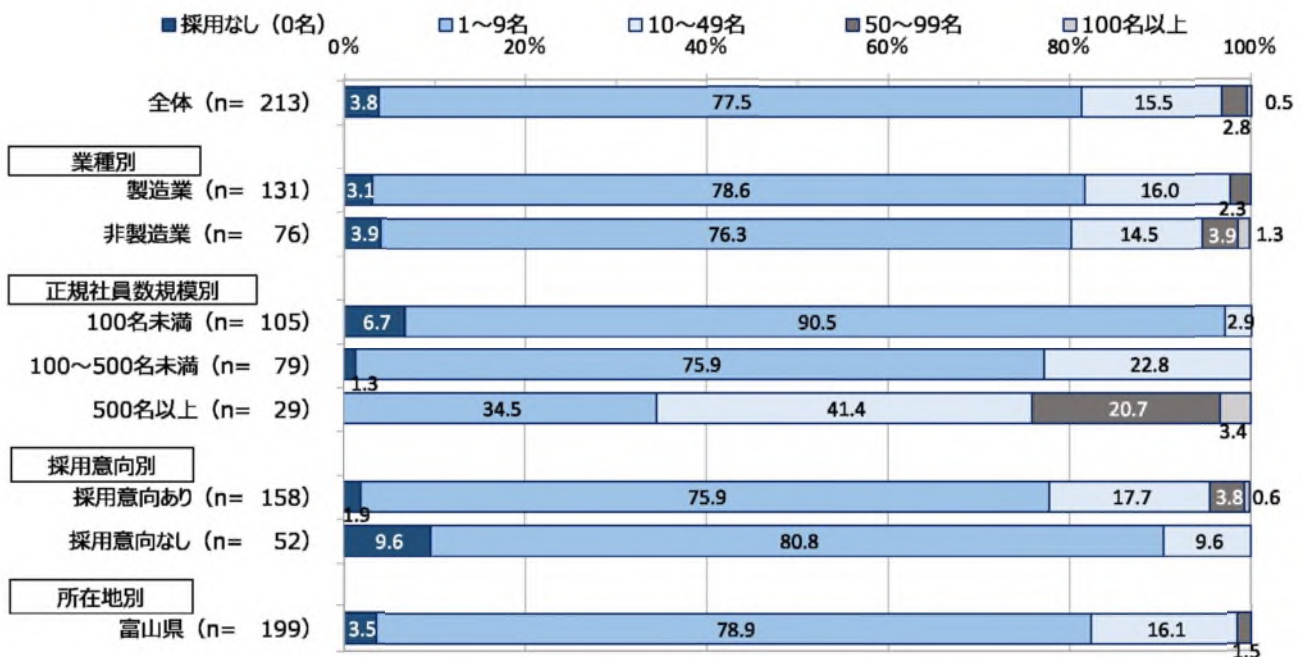
- ・過去 3 年間（2022～2024 年度）の年平均の採用者数を尋ねたところ、1 社あたりの平均値は 21.1 人、中央値は 3.0 人であった。**人数区分では「1～9 名」（77.5%）が最も多い**。次いで、「10～49 名」（15.5%）、「採用なし（0 名）」（3.8%）。
- ・正規社員数規模別にみると、100 名未満の規模では「1～9 名」（90.5%）が 9 割を超えている。100～500 名未満の規模では「10～49 名」（22.8%）が全体と比較して多く、さらに 500 名以上の規模では「10～49 名」（41.4%）、「50～99 名」（20.7%）も全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者に対して採用意向なしの企業では、「採用なし（0 名）」（9.6%）が全体と比較して多い。

問 5. 貴社・貴団体の過去 3 年間(2022～2024 年度)の、平均採用者数を教えてください。(整数を記入)

※採用がない場合は「0」名とご記入ください。

(単位：社)			採用なし (0名)	1～9名	10～49名	50～99名	100名以上
全体 (n= 213)			8	165	33	6	1
業種別	製造業 (n= 131)	4	103	21	3	0	
	非製造業 (n= 76)	3	58	11	3	1	
正規社員数 規模別	100名未満 (n= 105)	7	95	3	0	0	
	100～500名未満 (n= 79)	1	60	18	0	0	
	500名以上 (n= 29)	0	10	12	6	1	
採用意向別	採用意向あり (n= 158)	3	120	28	6	1	
	採用意向なし (n= 52)	5	42	5	0	0	
所在地別	富山県 (n= 199)	7	157	32	3	0	

※ n = 20 未満は非表示



＜採用実績②＞ 過去 3 年間の大学院修了者の平均採用者数

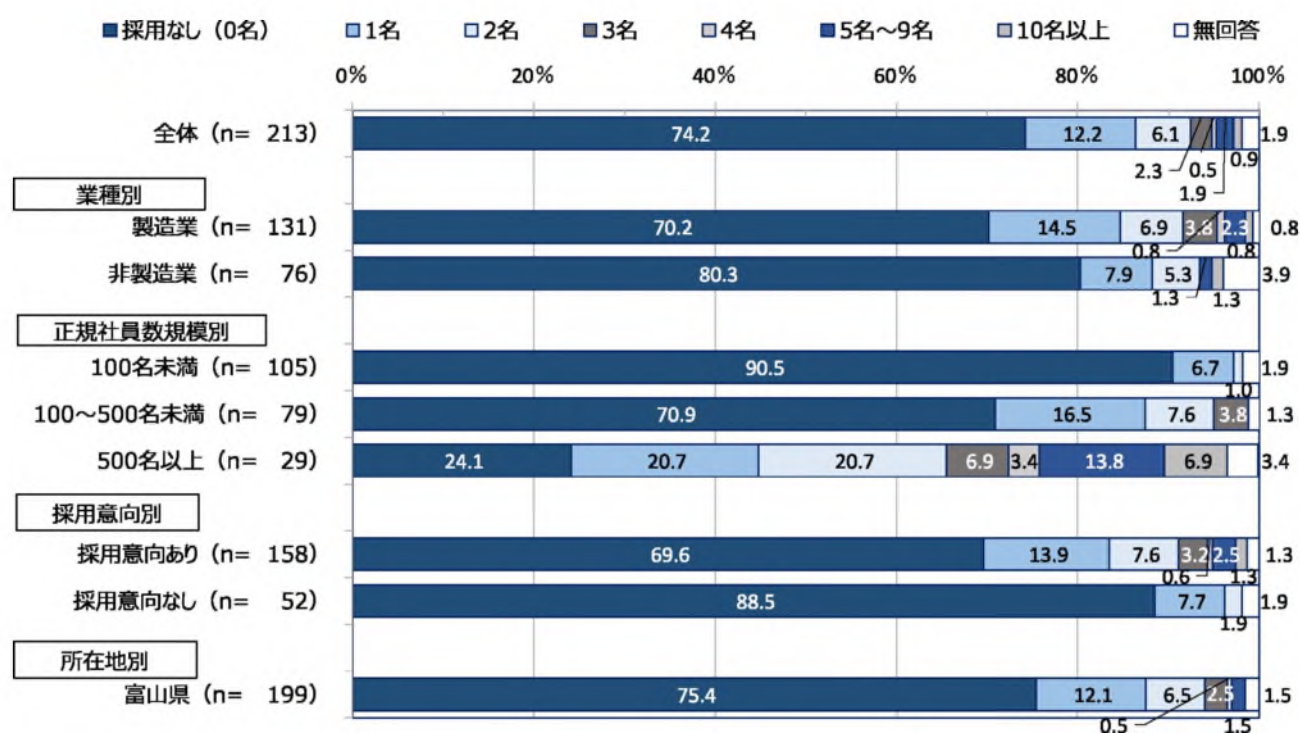
- ・過去 3 年間（2022～2024 年度）の平均採用者数のうち、大学院修了者の実数を尋ねたところ、1 社あたり 0.6 人。**人数区分では「採用なし（0 名）」（74.2%）が最も多い。**次いで、「1 名」（12.2%）、「2 名」（6.1%）。
- ・業種別にみると、「非製造業」で「採用なし（0 名）」（80.3%）と答えた割合が全体と比較して多い。
- ・正規社員数規模別にみると、100 名未満の規模では「採用なし（0 名）」（90.5%）が 9 割を超えている。一方、500 名以上の規模では「採用なし（0 名）」（24.1%）が著しく少ない。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者に対して採用意向なしの企業では、「採用なし（0 名）」（88.5%）が全体と比較して多い。

問 6. 問 5 の回答のうち、大学院修了者数を教えてください。（整数を記入）

※採用がない場合は「0」名とご記入ください。

(単位：社)			採用なし (0名)	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	無回答
全体 (n= 213)			158	26	13	5	1	4	2	4
業種別	製造業	(n= 131)	92	19	9	5	1	3	1	1
	非製造業	(n= 76)	61	6	4	0	0	1	1	3
正規社員 数規模別	100名未満	(n= 105)	95	7	1	0	0	0	0	2
	100～500名未満	(n= 79)	56	13	6	3	0	0	0	1
	500名以上	(n= 29)	7	6	6	2	1	4	2	1
採用意向 別	採用意向あり	(n= 158)	110	22	12	5	1	4	2	2
	採用意向なし	(n= 52)	46	4	1	0	0	0	0	1
所在地別	富山県	(n= 199)	150	24	13	5	1	3	0	3

※ n = 20 未満は非表示



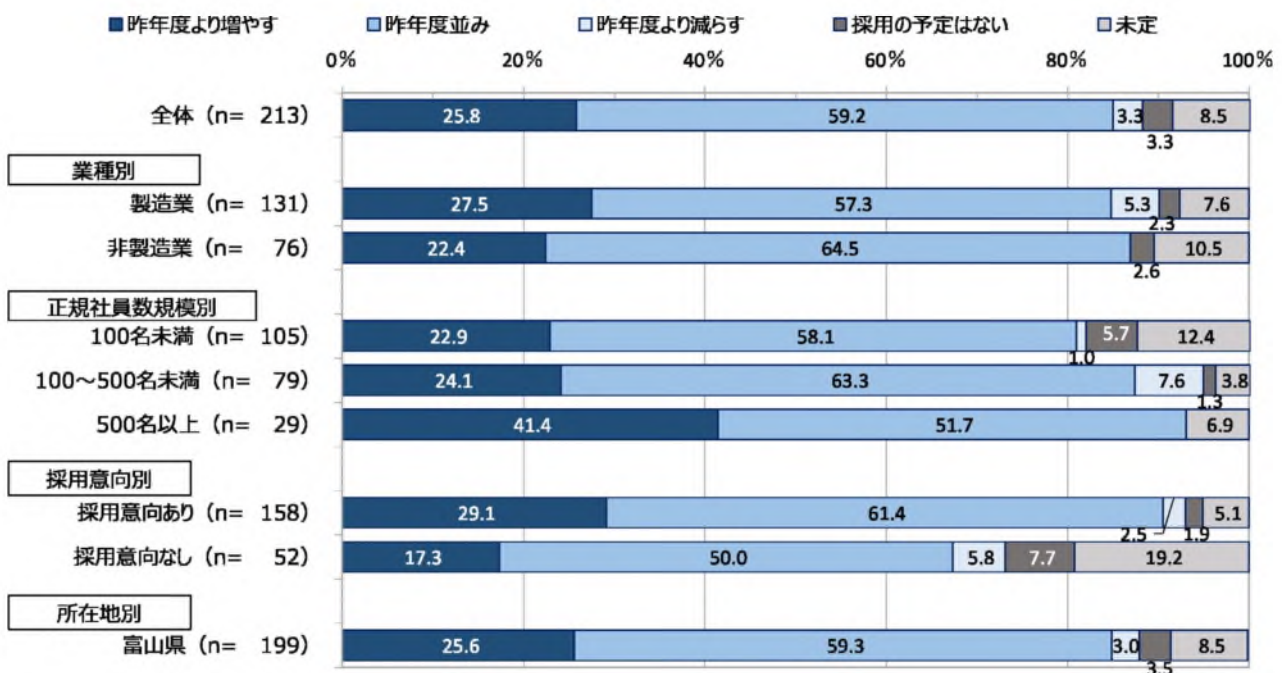
＜採用予定＞ 2025 年度の採用方針

- ・ 2025 年度の採用者数の予定を尋ねたところ、「**昨年度並み**」(59.2%) が最も多い。次いで、「昨年度より増やす」(25.8%)、「未定」(8.5%)。
- ・ 正規社員数規模別にみると、500 名以上の規模で「昨年度より増やす」(41.4%) が全体と比較して多い。
- ・ 採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者に対して採用意向なしの企業では、「未定」(19.2%) が全体と比較して多い。

問 7. 貴社・貴団体の 2025 年度の採用者数の予定について教えてください。(1 つに○)

(単位：社)		昨年度より 増やす	昨年度並み	昨年度より 減らす	採用の予定 はない	未定
全体		(n= 213)	55	126	7	18
業種別	製造業	(n= 131)	36	75	7	10
	非製造業	(n= 76)	17	49	0	8
正規社員 数規模別	100名未満	(n= 105)	24	61	1	13
	100～500名未満	(n= 79)	19	50	6	3
	500名以上	(n= 29)	12	15	0	2
採用意向 別	採用意向あり	(n= 158)	46	97	4	8
	採用意向なし	(n= 52)	9	26	3	10
所在地別	富山県	(n= 199)	51	118	6	17

※ n = 20 未満は非表示



情報工学研究科（博士前期課程）「データサイエンス専攻」の魅力度

- ・情報工学研究科（博士前期課程）「データサイエンス専攻」の特色を踏まえ、その魅力度を尋ねたところ、「とても魅力を感じる」は 25.8%。「ある程度魅力を感じる」（51.2%）と合わせた「**魅力を感じる（計）**」は **77.0%**。
- ・業種別にみると、「非製造業」で「とても魅力を感じる」（31.6%）が全体と比較して多い。
- ・正規社員数規模別にみると、500 名以上の規模で「とても魅力を感じる」（34.5%）と「ある程度魅力を感じる」（55.2%）を合わせた「魅力を感じる（計）」（89.7%）が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業で、「とても魅力を感じる」（32.9%）と、「ある程度魅力を感じる」（51.9%）を合わせた「魅力を感じる（計）」（84.8%）が全体と比較して多い。一方、採用意向なしの企業では「あまり魅力を感じない」（36.5%）、「全く魅力を感じない」（9.6%）が合計で 4 割を超えており、全体と比較して多い。

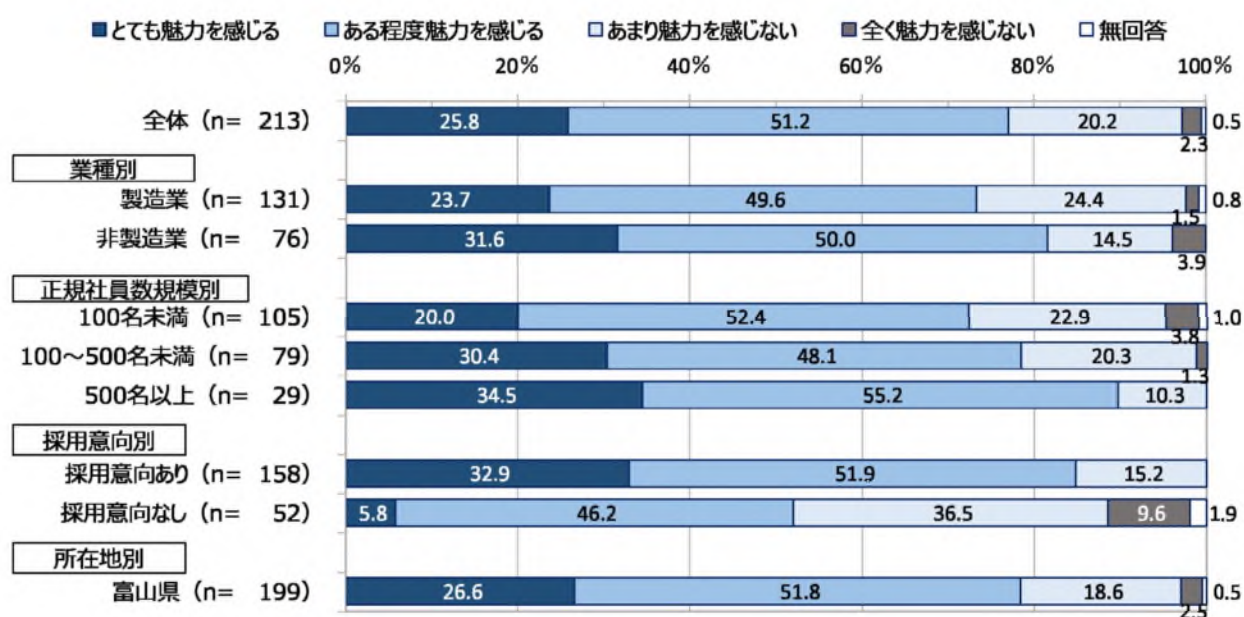
問 8. 富山県立大学が新設を予定している次の各専攻に、貴社・貴団体はどの程度魅力を感じますか？

（専攻ごとに 1 つに○）

		（単位：社）	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	無回答	魅力を感じる（計）	
全体		（n= 213）	55	109	43	5	1	164	77.0%
業種別	製造業	（n= 131）	31	65	32	2	1	96	73.3%
	非製造業	（n= 76）	24	38	11	3	0	62	81.6%
正規社員数規模別	100名未満	（n= 105）	21	55	24	4	1	76	72.4%
	100～500名未満	（n= 79）	24	38	16	1	0	62	78.5%
	500名以上	（n= 29）	10	16	3	0	0	26	89.7%
採用意向別	採用意向あり	（n= 158）	52	82	24	0	0	134	84.8%
	採用意向なし	（n= 52）	3	24	19	5	1	27	52.0%
所在地別	富山県	（n= 199）	53	103	37	5	1	156	78.4%

※ n = 20未満は非表示

※「魅力を感じる（計）」は、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計



情報工学研究科（博士前期課程）「情報システム工学専攻」の魅力度

- ・情報工学研究科（博士前期課程）「情報システム工学専攻」の特色を踏まえ、その魅力度を尋ねたところ、「とても魅力を感じる」は 31.9%。「ある程度魅力を感じる」(52.6%) と合わせた「**魅力を感じる（計）**」は **84.5%**。
- ・正規社員数規模別にみると、特に 500 名以上の規模で「とても魅力を感じる」(48.3%) が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業で、「とても魅力を感じる」(40.5%) と「ある程度魅力を感じる」(51.9%) を合わせた「魅力を感じる（計）」(92.4%) が全体と比較して多い。一方、採用意向なしの企業では「あまり魅力を感じない」(28.8%)、「全く魅力を感じない」(9.6%) が合計で 4 割近くあり、全体と比較して多い。

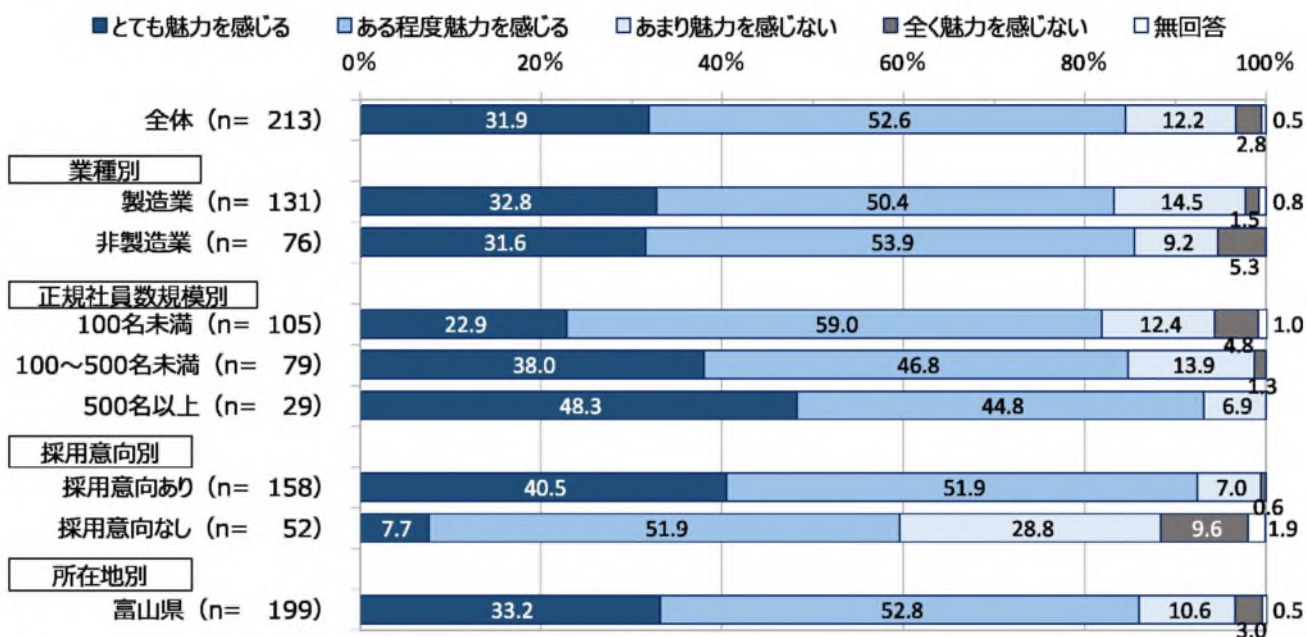
問 8. 富山県立大学が新設を予定している次の各専攻に、貴社・貴団体はどの程度魅力を感じますか？

（専攻ごとに 1 つに○）

		(単位：社)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	無回答	魅力を感じる（計）	
全体		(n= 213)	68	112	26	6	1	180	84.5%
業種別	製造業	(n= 131)	43	66	19	2	1	109	83.2%
	非製造業	(n= 76)	24	41	7	4	0	65	85.5%
正規社員数規模別	100名未満	(n= 105)	24	62	13	5	1	86	81.9%
	100～500名未満	(n= 79)	30	37	11	1	0	67	84.8%
	500名以上	(n= 29)	14	13	2	0	0	27	93.1%
採用意向別	採用意向あり	(n= 158)	64	82	11	1	0	146	92.4%
	採用意向なし	(n= 52)	4	27	15	5	1	31	59.6%
所在地別		富山県	66	105	21	6	1	171	86.0%

※ n = 20未満は非表示

※「魅力を感じる（計）」は、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計



情報工学研究科（博士前期課程）「知能ロボット工学専攻」の魅力度

- ・情報工学研究科（博士前期課程）「知能ロボット工学専攻」の特色を踏まえ、その魅力度を尋ねたところ、「とても魅力を感じる」は 36.6%。「ある程度魅力を感じる」(42.7%) と合わせた「**魅力を感じる（計）**」は **79.3%**。
- ・業種別にみると、「製造業」で「とても魅力を感じる」(46.6%) が全体と比較して多い。
- ・正規社員数規模別にみると、特に 500 名以上の規模で「とても魅力を感じる」(62.1%) が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業で、「とても魅力を感じる」(46.2%) と「ある程度魅力を感じる」(40.5%) を合わせた「魅力を感じる（計）」(86.7%) が全体と比較して多い。一方、採用意向なしの企業では「あまり魅力を感じない」(30.8%)、「全く魅力を感じない」(11.5%) が全体と比較して多い。

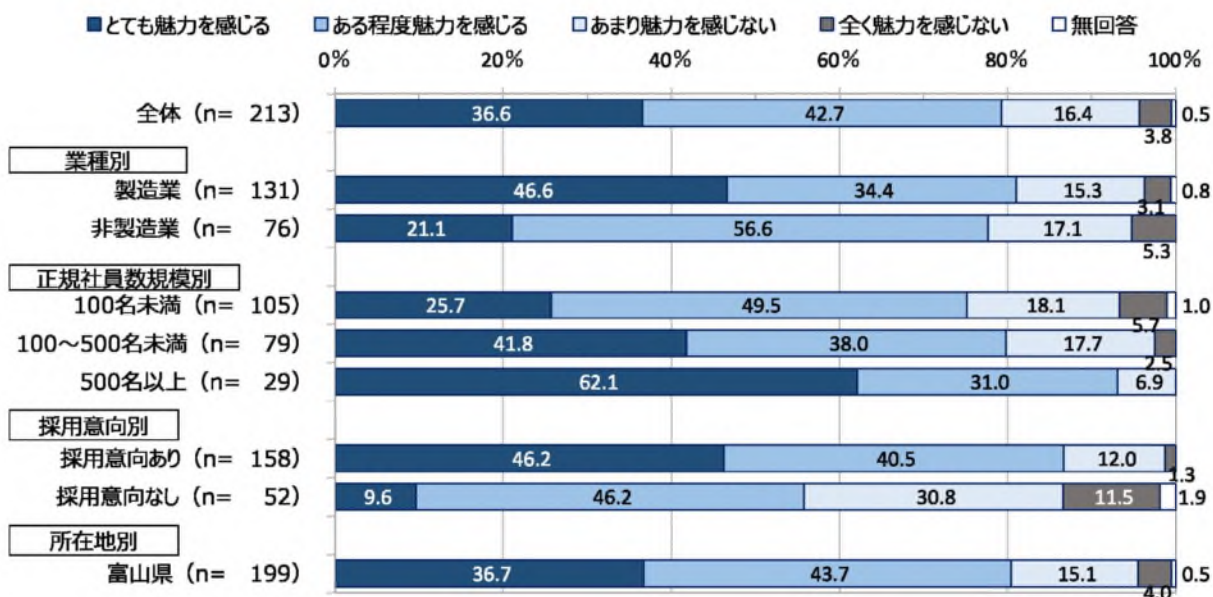
問 8. 富山県立大学が新設を予定している次の各専攻に、貴社・貴団体はどの程度魅力を感じますか？

（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	無回答	魅力を感じる（計）	
全体		(n= 213)	78	91	35	8	1	169	79.3%
業種別	製造業	(n= 131)	61	45	20	4	1	106	81.0%
	非製造業	(n= 76)	16	43	13	4	0	59	77.7%
正規社員数規模別	100名未満	(n= 105)	27	52	19	6	1	79	75.2%
	100～500名未満	(n= 79)	33	30	14	2	0	63	79.8%
	500名以上	(n= 29)	18	9	2	0	0	27	93.1%
採用意向別	採用意向あり	(n= 158)	73	64	19	2	0	137	86.7%
	採用意向なし	(n= 52)	5	24	16	6	1	29	55.8%
所在地別		富山県	73	87	30	8	1	160	80.4%

※ n = 20未満は非表示

※「魅力を感じる（計）」は、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計



工学研究科（博士前期課程）「電気電子工学専攻」の魅力度

- ・工学研究科（博士前期課程）「電気電子工学専攻」の特色を踏まえ、その魅力度を尋ねたところ、「とても魅力を感じる」は33.8%。「ある程度魅力を感じる」(46.0%)と合わせた「**魅力を感じる（計）**」割合は**79.8%**。
- ・正規社員数規模別にみると、特に500名以上の規模で「とても魅力を感じる」(48.3%)と「ある程度魅力を感じる」(48.3%)を合わせた「魅力を感じる（計）」(96.6%)が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業で、「とても魅力を感じる」(43.7%)と「ある程度魅力を感じる」(42.4%)を合わせた「魅力を感じる（計）」(86.1%)が全体と比較して多い。一方、採用意向なしの企業では「ある程度魅力を感じる」(53.8%)が多いものの、「魅力を感じる（計）」(59.6%)は6割に満たない。

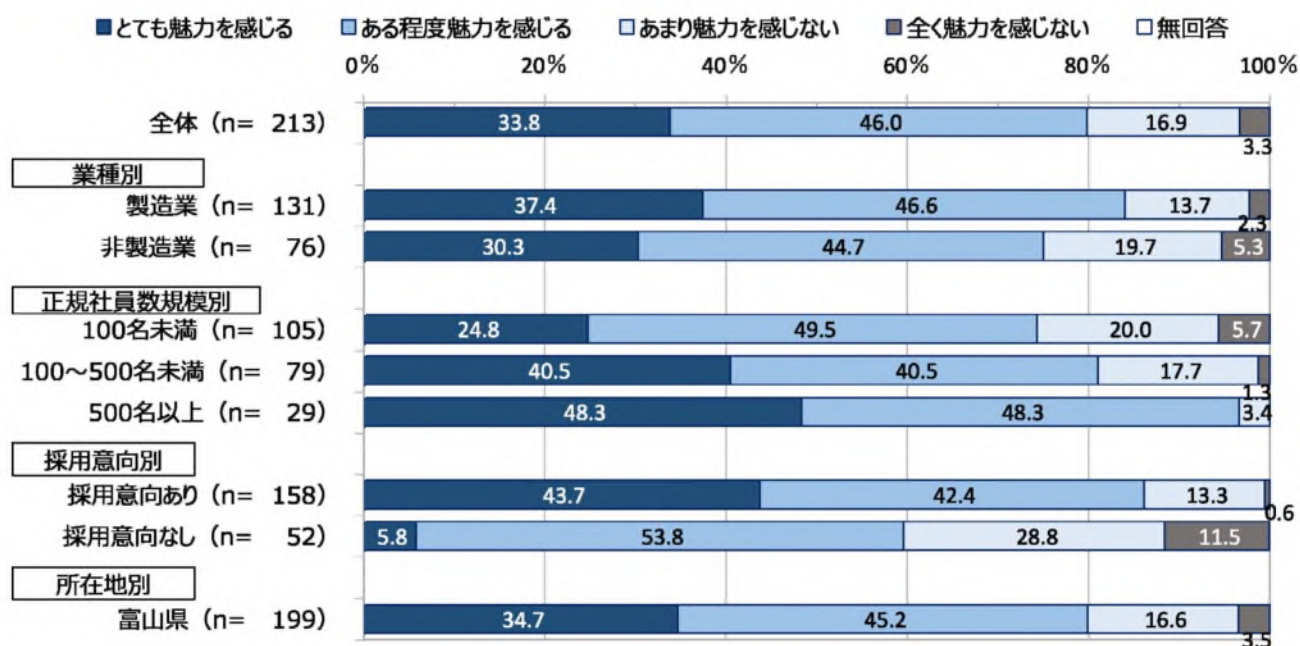
問8. 富山県立大学が新設を予定している次の各専攻に、貴社・貴団体はどの程度魅力を感じますか？

（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない	無回答	魅力を感じる（計）	
全体		(n= 213)	72	98	36	7	0	170	79.8%
業種別	製造業	(n= 131)	49	61	18	3	0	110	84.0%
	非製造業	(n= 76)	23	34	15	4	0	57	75.0%
正規社員数規模別	100名未満	(n= 105)	26	52	21	6	0	78	74.3%
	100～500名未満	(n= 79)	32	32	14	1	0	64	81.0%
	500名以上	(n= 29)	14	14	1	0	0	28	96.6%
採用意向別	採用意向あり	(n= 158)	69	67	21	1	0	136	86.1%
	採用意向なし	(n= 52)	3	28	15	6	0	31	59.6%
所在地別		富山県	69	90	33	7	0	159	79.9%

※ n = 20未満は非表示

※「魅力を感じる（計）」は、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計



情報工学研究科（博士後期課程）「情報工学専攻」の魅力度

- ・情報工学研究科（博士後期課程）「情報工学専攻」の特色を踏まえ、その魅力度を尋ねたところ、「とても魅力を感じる」は26.8%。「ある程度魅力を感じる」（54.9%）と合わせた「**魅力を感じる（計）**」は**81.7%**。
- ・正規社員数規模別にみると、500名以上の規模で「とても魅力を感じる」（34.5%）と、「ある程度魅力を感じる」（58.6%）と合わせた「魅力を感じる（計）」（93.1%）が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業で、「とても魅力を感じる」（34.8%）と「ある程度魅力を感じる」（54.4%）を合わせた「魅力を感じる（計）」（89.2%）が全体と比較して多い。一方、採用意向なしの企業では「あまり魅力を感じない」（30.8%）、「全く魅力を感じない」（9.6%）が全体と比較して多い。

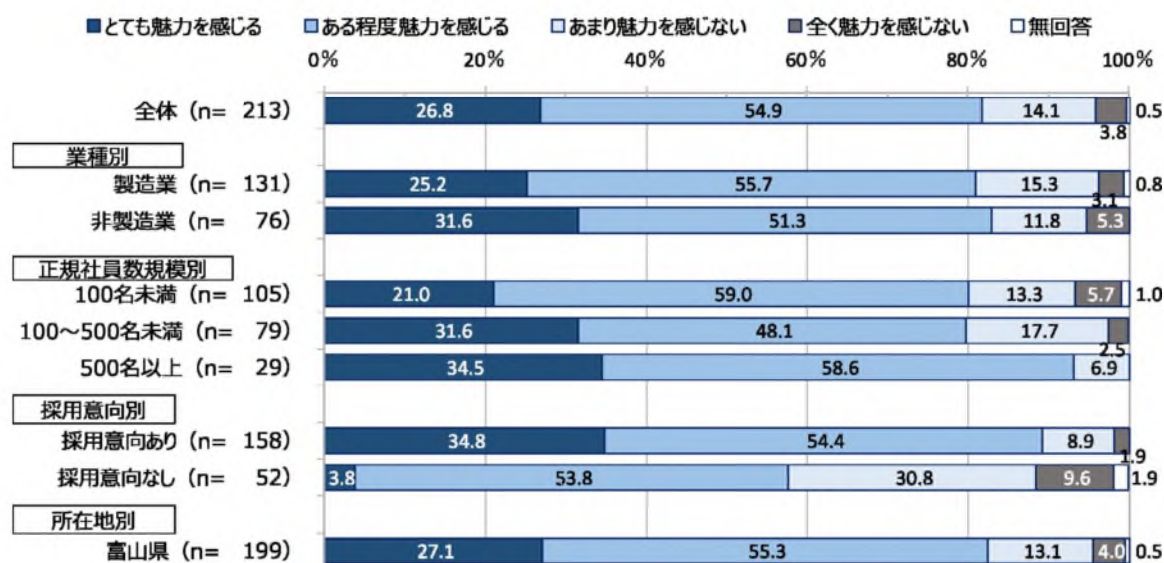
問8. 富山県立大学が新設を予定している次の各専攻に、貴社・貴団体はどの程度魅力を感じますか？

（専攻ごとに1つに○）

(単位：社)			とても魅力 を感じる	ある程度魅 力を感じる	あまり魅力 を感じない	全く魅力を 感じない	無回答	魅力を感じる (計)	
全体 (n= 213)			57	117	30	8	1	174	81.7%
業種別	製造業 (n= 131)	33	73	20	4	1	106	80.9%	
	非製造業 (n= 76)	24	39	9	4	0	63	82.9%	
正規社員 数規模別	100名未満 (n= 105)	22	62	14	6	1	84	80.0%	
	100～500名未満 (n= 79)	25	38	14	2	0	63	79.7%	
	500名以上 (n= 29)	10	17	2	0	0	27	93.1%	
採用意向 別	採用意向あり (n= 158)	55	86	14	3	0	141	89.2%	
	採用意向なし (n= 52)	2	28	16	5	1	30	57.6%	
所在地別	富山県 (n= 199)	54	110	26	8	1	164	82.4%	

※ n = 20未満は非表示

※「魅力を感じる（計）」は、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計



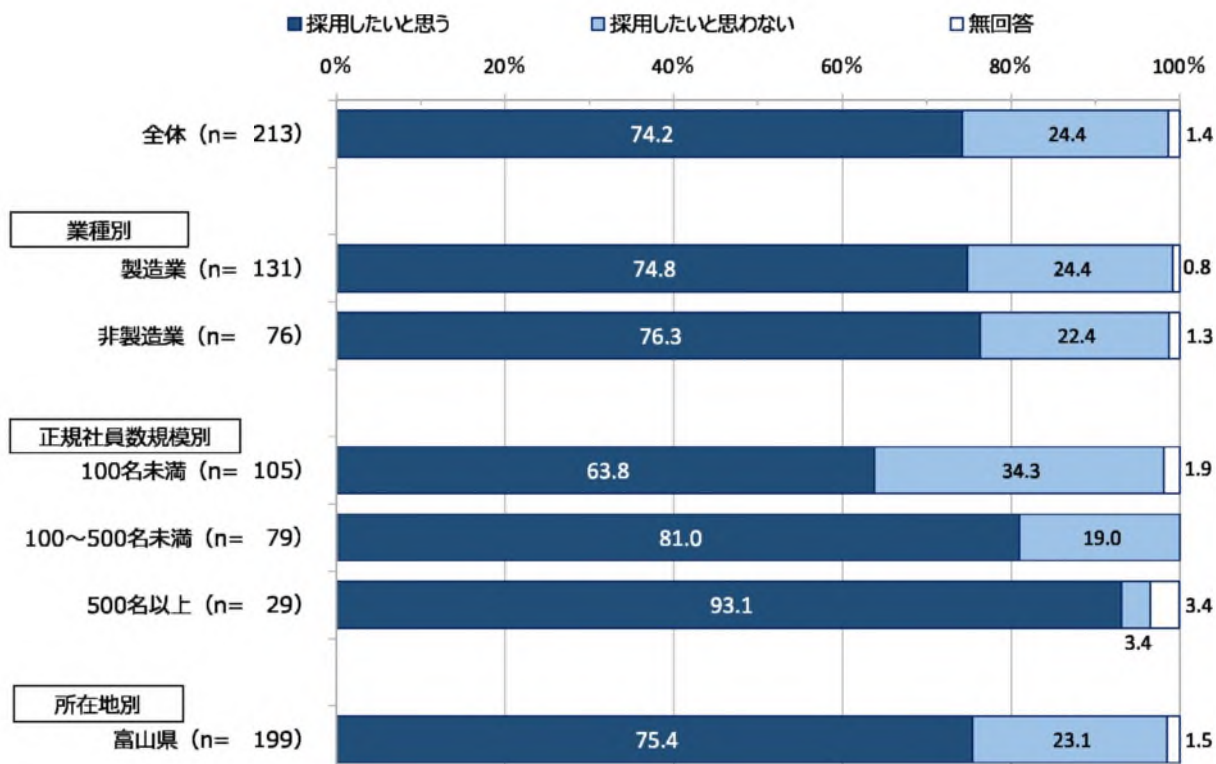
富山県立大学大学院修了者の採用意向

- ・富山県立大学の大学院修了者に対する採用意向を尋ねたところ、「**採用したいと思う**」が**74.2%**。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満で63.8%、100～500名未満の規模で81.0%、500名以上の規模で93.1%が「採用したいと思う」と回答し、規模が大きくなるにつれて多くなっている。一方で、100名未満の規模では「採用したいと思わない」（34.3%）が3割を超えている。

問9. 富山県立大学の大学院修了者を採用したいと思いますか？（1つに○）

		(単位：社)	採用したいと思う	採用したいと思わない	無回答
全体		(n= 213)	158	52	3
業種別	製造業	(n= 131)	98	32	1
	非製造業	(n= 76)	58	17	1
正規社員数規模別	100名未満	(n= 105)	67	36	2
	100～500名未満	(n= 79)	64	15	0
	500名以上	(n= 29)	27	1	1
所在地別	富山県	(n= 199)	150	46	3

※ n = 20未満は非表示



採用意向人数（データサイエンス専攻）

- ・富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業に、情報工学研究科（博士前期課程）「データサイエンス専攻」の採用意向人数を尋ねたところ、「1名」（58.9%）が最も多く、次いで「0名」（29.7%）、「2名」（4.4%）。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模で「0名」（37.3%）が全体と比較して多い。一方、500名以上の規模では「5名以上」（7.4%）が全体と比較して多い。

・採用意向人数の合計は **125名**

・1社あたり平均人数は **0.8名**

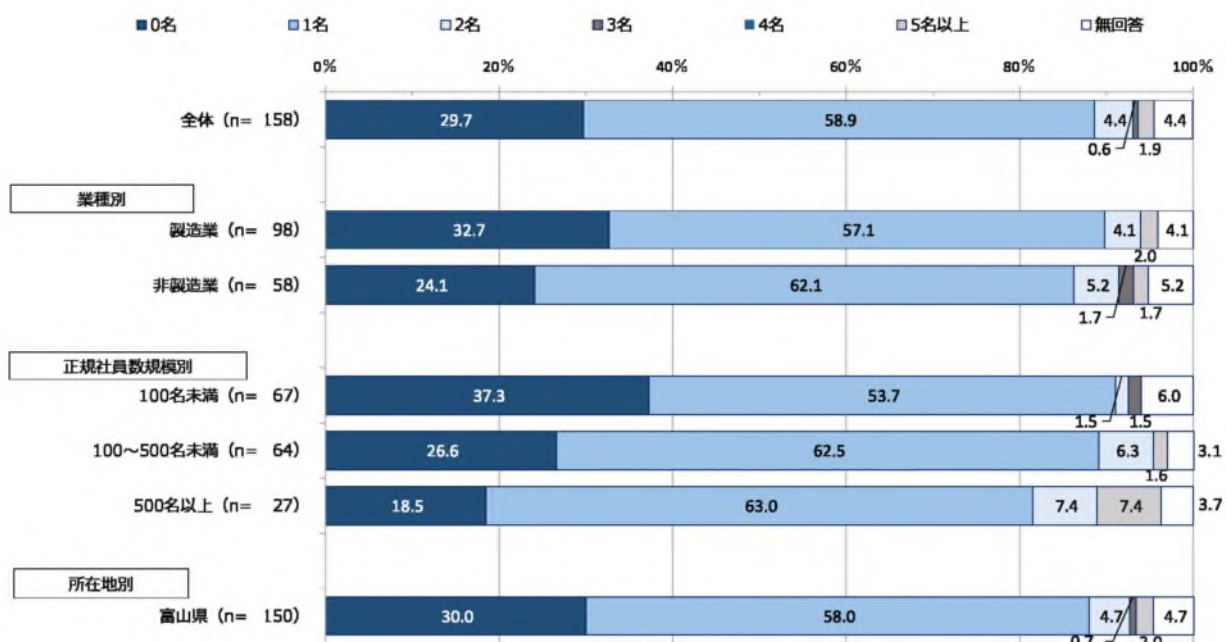
※「無回答」の企業を除いた平均値

- ・採用意向人数の合計が予定入学定員数（14名）を大きく上回る

問 10. 問 9 で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用したい人数を教えてください。（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)	0名	1名	2名	3名	4名	5名以上	無回答	採用意向人数あり		(単位：人) 採用意向 人数 (合計)	(単位：人) 1社あたり 平均人数	
全体		(n= 158)	47	93	7	1	0	3	7	151	95.6%	125	0.8	
業種別	製造業	(n= 98)	32	56	4	0	0	2	4	94	95.9%	74	0.8	
	非製造業	(n= 58)	14	36	3	1	0	1	3	55	94.8%	50	0.9	
正規社員 数規模別	100名未満	(n= 67)	25	36	1	1	0	0	4	63	94.0%	41	0.7	
	100～500名未満	(n= 64)	17	40	4	0	0	1	2	62	96.9%	53	0.9	
	500名以上	(n= 27)	5	17	2	0	0	2	1	26	96.3%	31	1.2	
所在地別		富山県	(n= 150)	45	87	7	1	0	3	7	143	95.3%	119	0.8

※ n = 20未満は非表示



採用意向人数（情報システム工学専攻）

- ・富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業に、情報工学研究科（博士前期課程）「情報システム工学専攻」の採用意向人数を尋ねたところ、「1名」（65.2%）が最も多く、次いで「0名」（19.6%）、「2名」（8.9%）。
- ・正規社員数規模別にみると、100～500名未満の規模で「2名」（14.1%）、500名以上の規模で「5名以上」（7.4%）が全体と比較して多い。

・採用意向人数の合計は **152名**

・1社あたり平均人数は **1.0名**

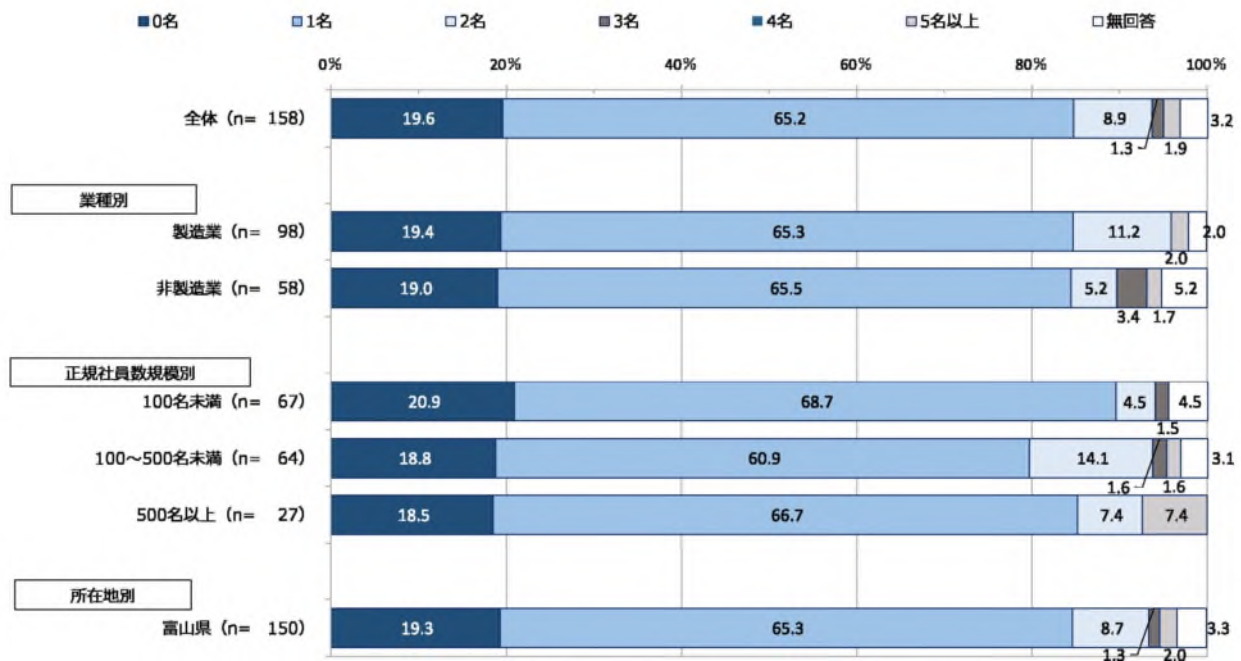
※「無回答」の企業を除いた平均値

- ・採用意向人数の合計が予定入学定員数（24名）を大きく上回る

問 10. 問 9 で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用したい人数を教えてください。（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)									(単位：人)	(単位：人)
		0名	1名	2名	3名	4名	5名以上	無回答	採用意向人数あり		採用意向人数 (合計)	1社あたり 平均人数
全体	(n= 158)	31	103	14	2	0	3	5	153	96.8%	152	1.0
業種別	製造業 (n= 98)	19	64	11	0	0	2	2	96	98.0%	96	1.0
	非製造業 (n= 58)	11	38	3	2	0	1	3	55	94.8%	55	1.0
正規社員 数規模別	100名未満 (n= 67)	14	46	3	1	0	0	3	64	95.5%	55	0.9
	100～500名未満 (n= 64)	12	39	9	1	0	1	2	62	96.9%	65	1.0
	500名以上 (n= 27)	5	18	2	0	0	2	0	27	100.0%	32	1.2
所在地別	富山県 (n= 150)	29	98	13	2	0	3	5	145	96.7%	145	1.0

※ n = 20未満は非表示



採用意向人数（知能ロボット工学専攻）

- ・富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業に、情報工学研究科（博士前期課程）「知能ロボット工学専攻」の採用意向人数を尋ねたところ、「1名」（57.0%）が最も多く、次いで「0名」（25.3%）、「2名」（10.1%）。
- ・業種別にみると、非製造業で「0名」（32.8%）が全体と比較して多い。
- ・正規社員数規模別にみると、500名以上の規模で「0名」（14.8%）が全体と比較して少なく、「5名以上」（11.1%）が多い。

・採用意向人数の合計は **149名**

・1社あたり平均人数は **1.0名**

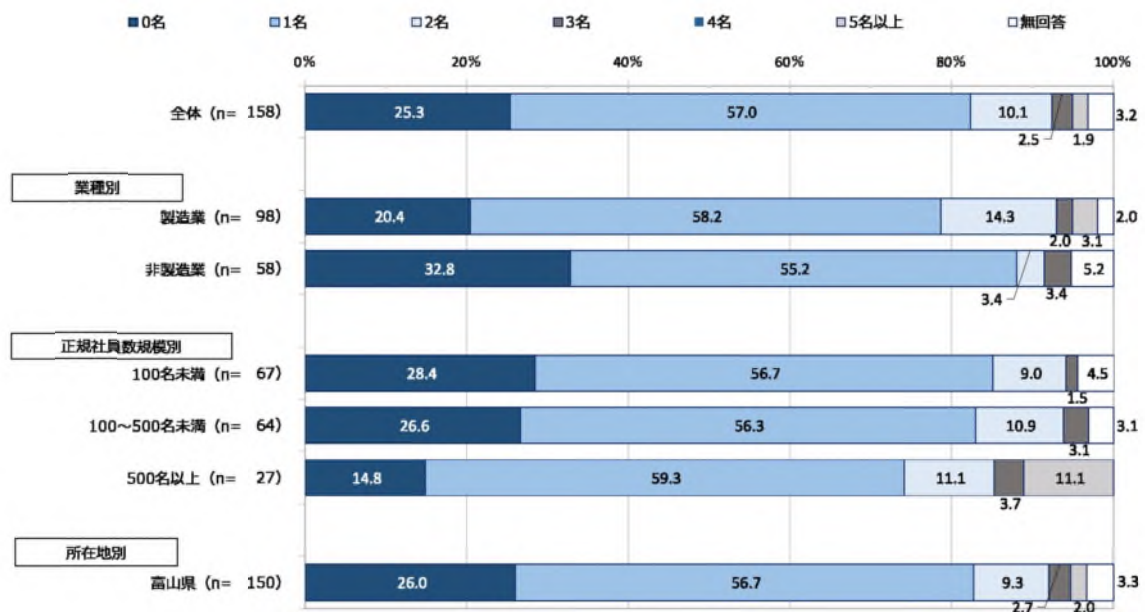
※「無回答」の企業を除いた平均値

- ・採用意向人数の合計が予定入学定員数（24名）を大きく上回る

問 10. 問 9 で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用したい人数を教えてください。（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)	0名	1名	2名	3名	4名	5名以上	無回答	採用意向人数あり		(単位：人) 採用意向 人数 (合計)	(単位：人) 1社あたり 平均人数
全体		(n= 158)	40	90	16	4	0	3	5	153	96.8%	149	1.0
業種別	製造業	(n= 98)	20	57	14	2	0	3	2	96	98.0%	106	1.1
	非製造業	(n= 58)	19	32	2	2	0	0	3	55	94.8%	42	0.8
正規社員 数規模別	100名未満	(n= 67)	19	38	6	1	0	0	3	64	95.5%	53	0.8
	100～500名未満	(n= 64)	17	36	7	2	0	0	2	62	96.9%	56	0.9
	500名以上	(n= 27)	4	16	3	1	0	3	0	27	100.0%	40	1.5
所在地別		(n= 150)	39	85	14	4	0	3	5	145	96.7%	140	1.0

※ n = 20未満は非表示



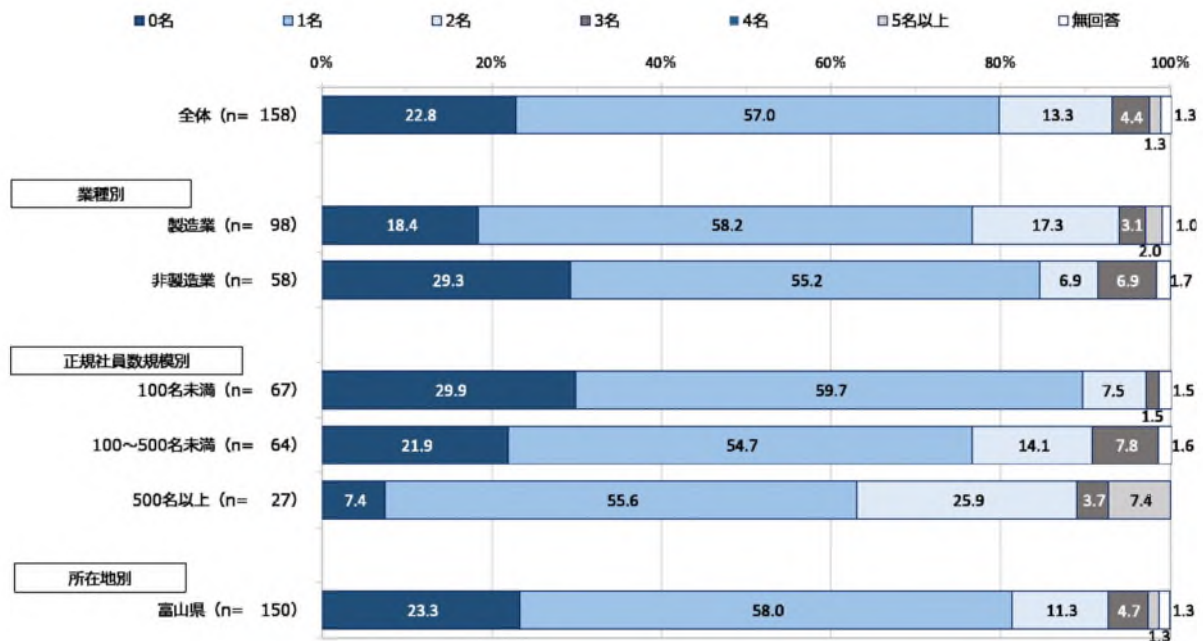
採用意向人数（電気電子工学専攻）

- ・富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業に、工学研究科（博士前期課程）「電気電子工学専攻」の採用意向人数を尋ねたところ、「1名」（57.0%）が最も多く、次いで「0名」（22.8%）、「2名」（13.3%）。
- ・業種別にみると、非製造業で「0名」（29.3%）が全体と比較して多い。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模で「0名」（29.9%）が全体と比較して多い。一方、500名以上の規模では、「0名」（7.4%）が全体と比較して少なく、「2名」（25.9%）と「5名以上」（7.4%）が全体と比較して多い。
- ・採用意向人数の合計は **163名**
- ・1社あたり平均人数は **1.0名**
※「無回答」の企業を除いた平均値
- ・採用意向人数の合計が予定入学定員数（15名）を大きく上回る

問 10. 問 9 で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用したい人数を教えてください。（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)									(単位：人)	(単位：人)
		0名	1名	2名	3名	4名	5名以上	無回答	採用意向人数あり		採用意向人数 (合計)	1社あたり 平均人数
全体 (n= 158)		36	90	21	7	0	2	2	156	98.7%	163	1.0
業種別	製造業 (n= 98)	18	57	17	3	0	2	1	97	99.0%	110	1.1
	非製造業 (n= 58)	17	32	4	4	0	0	1	57	98.3%	52	0.9
正規社員 数規模別	100名未満 (n= 67)	20	40	5	1	0	0	1	66	98.5%	53	0.8
	100～500名未満 (n= 64)	14	35	9	5	0	0	1	63	98.4%	68	1.1
	500名以上 (n= 27)	2	15	7	1	0	2	0	27	100.0%	42	1.6
所在地別	富山県 (n= 150)	35	87	17	7	0	2	2	148	98.7%	152	1.0

※ n = 20未満は非表示



採用意向人数（情報工学専攻）

- ・富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業に、情報工学研究科（博士後期課程）「情報工学専攻」の採用意向人数を尋ねたところ、「1名」（63.9%）が最も多く、次いで「0名」（24.7%）、「2名」（5.7%）。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模で「0名」（29.9%）が全体と比較して多い。一方、500名以上の規模では、「1名」（70.4%）と「5名以上」（7.4%）が全体と比較して多い。

・採用意向人数の合計は **140名**

・1社あたり平均人数は **0.9名**

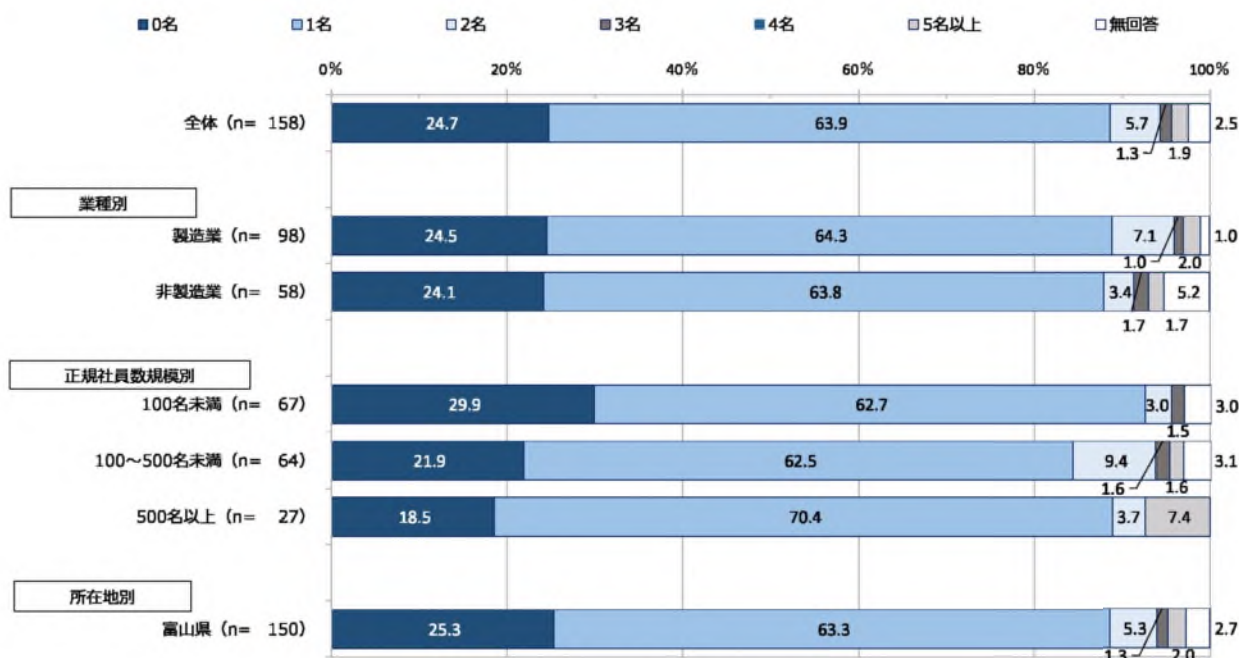
※「無回答」の企業を除いた平均値

・採用意向人数の合計が予定入学定員数（4名）を大きく上回る

問 10. 問 9 で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用したい人数を教えてください。（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)	0名	1名	2名	3名	4名	5名以上	無回答			(単位：人)	(単位：人)
										採用意向人数あり		採用意向人数(合計)	1社あたり平均人数
全体		(n= 158)	39	101	9	2	0	3	4	154	97.5	140	0.9
業種別	製造業	(n= 98)	24	63	7	1	0	2	1	97	99.0	90	0.9
	非製造業	(n= 58)	14	37	2	1	0	1	3	55	94.8	49	0.9
正規社員数規模別	100名未満	(n= 67)	20	42	2	1	0	0	2	65	97.0	49	0.8
	100～500名未満	(n= 64)	14	40	6	1	0	1	2	62	96.9	60	1.0
	500名以上	(n= 27)	5	19	1	0	0	2	0	27	100.0	31	1.1
所在地別	富山県	(n= 150)	38	95	8	2	0	3	4	146	97.3	132	0.9

※ n = 20未満は非表示



大学院活用意向（データサイエンス専攻）

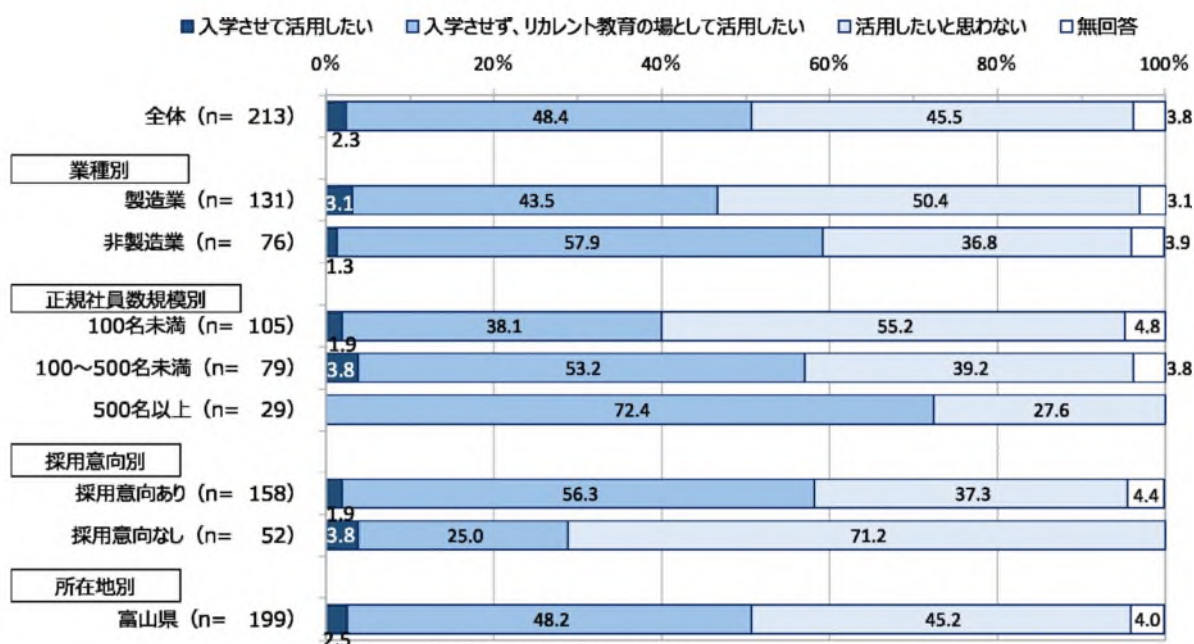
- ・情報工学研究科（博士前期課程）「データサイエンス専攻」の特色を踏まえ、社員の学び直しの場所として大学院を活用したいか尋ねたところ、「入学させて活用したい」が2.3%、「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」は48.4%。2つを合わせた「活用したい（計）」の割合は50.7%。
- ・業種別にみると、「非製造業」で「活用したい（計）」（59.2%）が全体と比較して多い。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模でのみ「活用したいと思わない」（55.2%）が5割を超えている。一方で、100～500名未満と500名以上の規模では「活用したい（計）」がそれぞれ57.0%、72.4%と、全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業では「活用したい（計）」（58.2%）が全体と比較して多く、一方で採用意向なしの企業では28.8%と少ない。

問 11. 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの場所として、当大学院を活用したいですか？（専攻ごとに1つに○）

(単位：社)		入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない	無回答	活用したい（計）	
全体	(n= 213)	5	103	97	8	108	50.7%
業種別	製造業 (n= 131)	4	57	66	4	61	46.6%
	非製造業 (n= 76)	1	44	28	3	45	59.2%
正規社員数規模別	100名未満 (n= 105)	2	40	58	5	42	40.0%
	100～500名未満 (n= 79)	3	42	31	3	45	57.0%
	500名以上 (n= 29)	0	21	8	0	21	72.4%
採用意向別	採用意向あり (n= 158)	3	89	59	7	92	58.2%
	採用意向なし (n= 52)	2	13	37	0	15	28.8%
所在地別	富山県 (n= 199)	5	96	90	8	101	50.7%

※ n = 20未満は非表示

※「活用したい（計）」は、「入学させて活用したい」と「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」の合計



大学院活用意向（情報システム工学専攻）

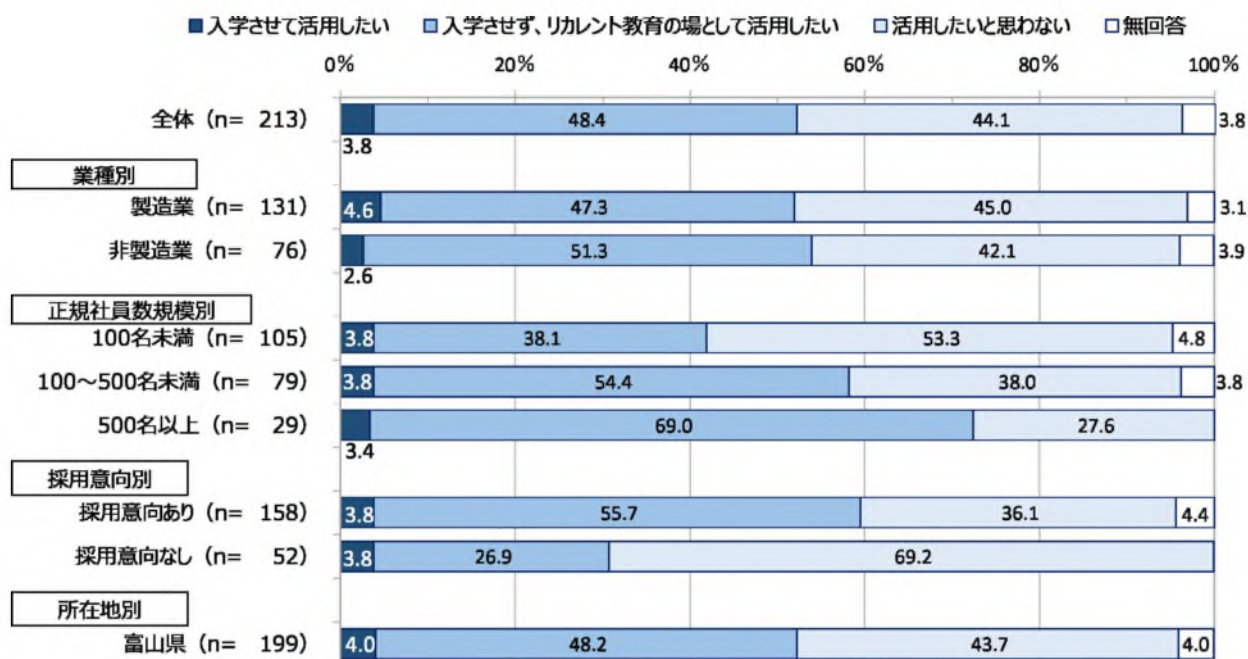
- ・情報工学研究科（博士前期課程）「情報システム工学専攻」の特色を踏まえ、社員の学び直しの場所として大学院を活用したいか尋ねたところ、「入学させて活用したい」が3.8%、「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」は48.4%。2つを合わせた「活用したい（計）」は52.2%。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模でのみ「活用したいと思わない」（53.3%）が5割を超えている。一方で、100～500名未満と500名以上の規模では「活用したい（計）」がそれぞれ58.2%、72.4%と、全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業では「活用したい（計）」（59.5%）が全体と比較して多く、一方で採用意向なしの企業では30.7%と少ない。

問 11. 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの場所として、当大学院を活用したいですか？（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)	入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない	無回答	活用したい（計）	
全体		(n= 213)	8	103	94	8	111	52.2%
業種別	製造業	(n= 131)	6	62	59	4	68	51.9%
	非製造業	(n= 76)	2	39	32	3	41	53.9%
正規社員数規模別	100名未満	(n= 105)	4	40	56	5	44	41.9%
	100～500名未満	(n= 79)	3	43	30	3	46	58.2%
	500名以上	(n= 29)	1	20	8	0	21	72.4%
採用意向別	採用意向あり	(n= 158)	6	88	57	7	94	59.5%
	採用意向なし	(n= 52)	2	14	36	0	16	30.7%
所在地別	富山県	(n= 199)	8	96	87	8	104	52.2%

※ n = 20未満は非表示

※「活用したい（計）」は、「入学させて活用したい」と「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」の合計



大学院活用意向（知能ロボット工学専攻）

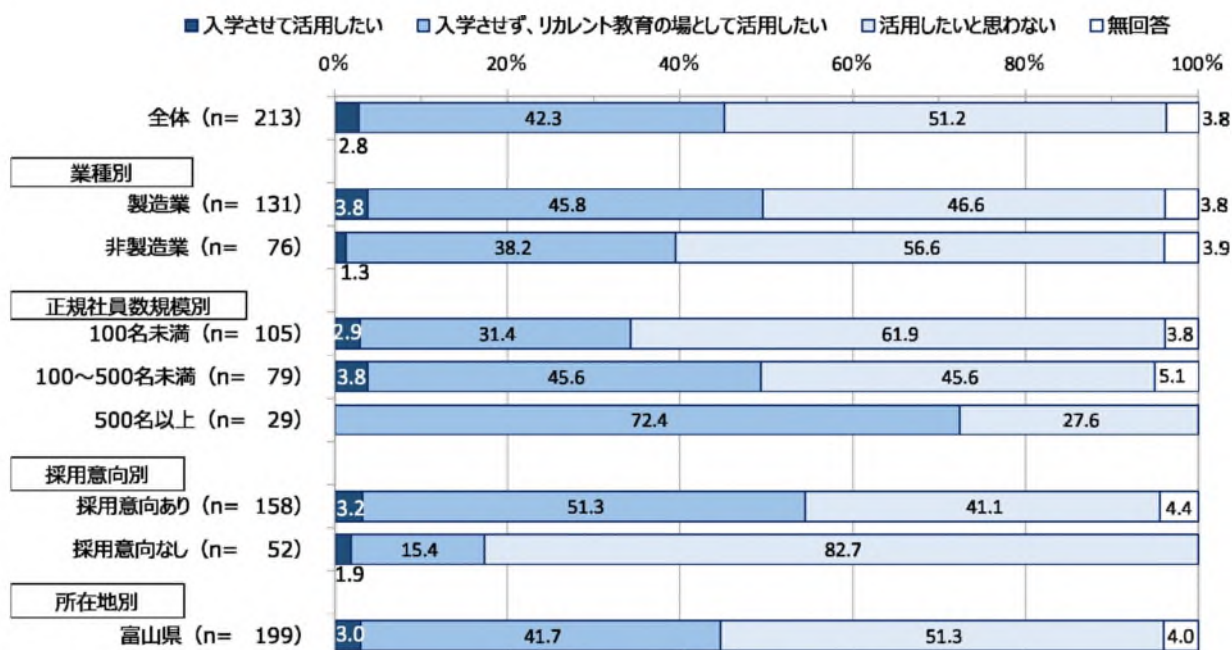
- ・情報工学研究科（博士前期課程）「知能ロボット工学専攻」の特色を踏まえ、社員の学び直しの場所として大学院を活用したいか尋ねたところ、「入学させて活用したい」が2.8%、「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」は42.3%。2つを合わせた「活用したい（計）」の割合は45.1%。
- ・業種別にみると、「非製造業」で「活用したいと思わない」（56.6%）が全体と比較して多い。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模で「活用したいと思わない」（61.9%）が全体と比較して多い。一方、500名以上の規模では「活用したい（計）」（72.4%）が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業では「活用したい（計）」（54.5%）が全体と比較して多く、一方で採用意向なしの企業では17.3%と少ない。

問 11. 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの場所として、当大学院を活用したいですか？（専攻ごとに1つに○）

(単位：社)		入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない	無回答	活用したい（計）	
全体	(n= 213)	6	90	109	8	96	45.1%
業種別	製造業 (n= 131)	5	60	61	5	65	49.6%
	非製造業 (n= 76)	1	29	43	3	30	39.5%
正規社員数規模別	100名未満 (n= 105)	3	33	65	4	36	34.3%
	100～500名未満 (n= 79)	3	36	36	4	39	49.4%
	500名以上 (n= 29)	0	21	8	0	21	72.4%
採用意向別	採用意向あり (n= 158)	5	81	65	7	86	54.5%
	採用意向なし (n= 52)	1	8	43	0	9	17.3%
所在地別	富山県 (n= 199)	6	83	102	8	89	44.7%

※ n = 20未満は非表示

※「活用したい（計）」は、「入学させて活用したい」と「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」の合計



大学院活用意向（電気電子工学専攻）

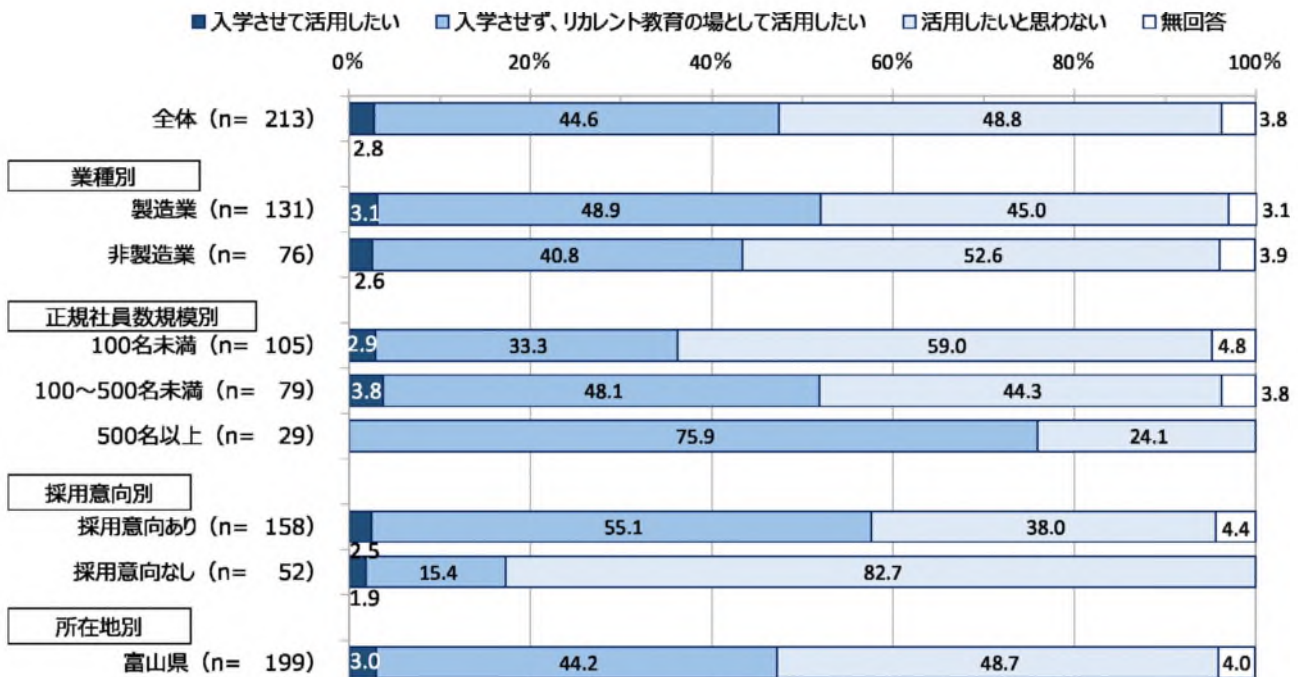
- ・工学研究科（博士前期課程）「電気電子工学専攻」の特色を踏まえ、社員の学び直しの場所として大学院を活用したいか尋ねたところ、「入学させて活用したい」が2.8%、「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」は44.6%。2つを合わせた「活用したい（計）」は47.4%。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模で「活用したいと思わない」（59.0%）が全体と比較して多い。一方、500名以上の規模では「活用したい（計）」（75.9%）が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業では「活用したい（計）」（57.6%）が全体と比較して多く、一方で採用意向なしの企業では17.3%と少ない。

問 11. 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの場所として、当大学院を活用したいですか？（専攻ごとに1つに○）

(単位：社)		入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない	無回答	活用したい（計）	
全体	(n= 213)	6	95	104	8	101	47.4%
業種別	製造業 (n= 131)	4	64	59	4	68	52.0%
	非製造業 (n= 76)	2	31	40	3	33	43.4%
正規社員数規模別	100名未満 (n= 105)	3	35	62	5	38	36.2%
	100～500名未満 (n= 79)	3	38	35	3	41	51.9%
	500名以上 (n= 29)	0	22	7	0	22	75.9%
採用意向別	採用意向あり (n= 158)	4	87	60	7	91	57.6%
	採用意向なし (n= 52)	1	8	43	0	9	17.3%
所在地別	富山県 (n= 199)	6	88	97	8	94	47.2%

※ n = 20未満は非表示

※「活用したい（計）」は、「入学させて活用したい」と「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」の合計



大学院活用意向（情報工学専攻）

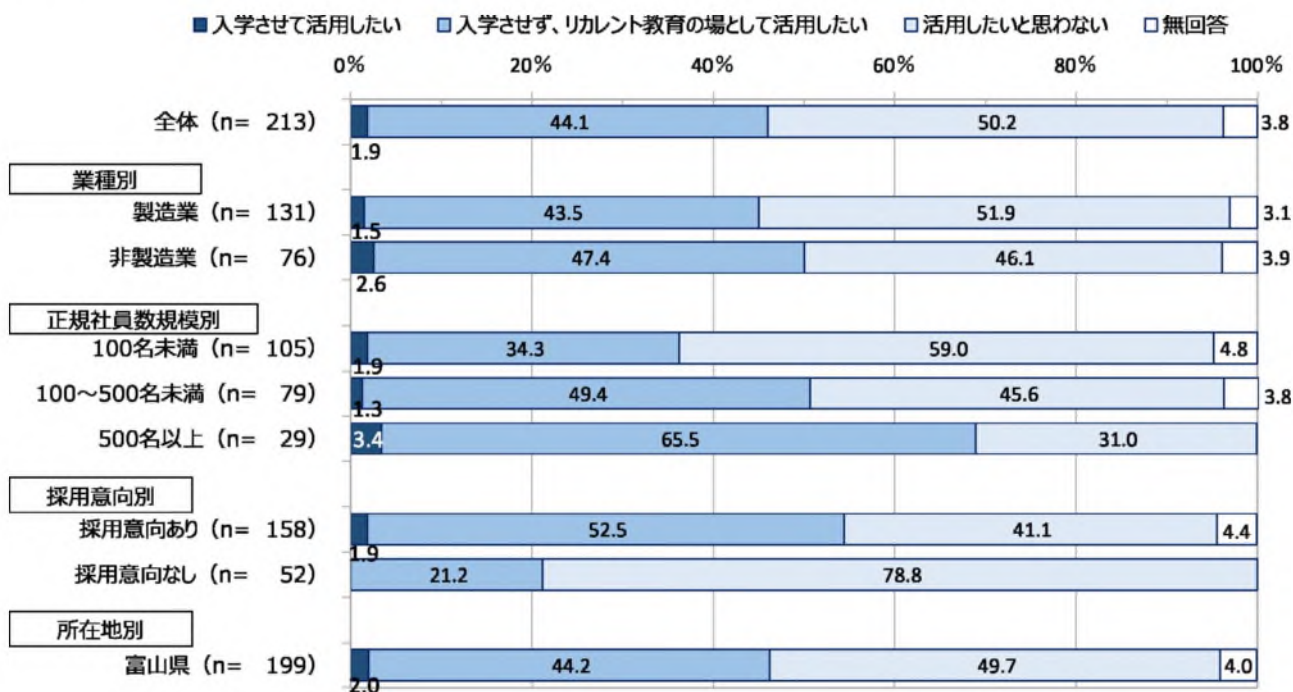
- ・情報工学研究科（博士後期課程）「情報工学専攻」の特色を踏まえ、社員の学び直しの場所として大学院を活用したいか尋ねたところ、「入学させて活用したい」が1.9%、「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」は44.1%。2つを合わせた「活用したい（計）」は46.0%。
- ・正規社員数規模別にみると、100名未満の規模で「活用したいと思わない」（59.0%）が全体と比較して多い。一方、500名以上の規模では「活用したい（計）」（68.9%）が全体と比較して多い。
- ・採用意向別にみると、富山県立大学の大学院修了者の採用意向がある企業では「活用したい（計）」（54.4%）が全体と比較して多く、一方で採用意向なしの企業では21.2%と少ない。

問 11. 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの場所として、当大学院を活用したいですか？（専攻ごとに1つに○）

		(単位：社)	入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない	無回答	活用したい（計）	
全体		(n= 213)	4	94	107	8	98	46.0%
業種別	製造業	(n= 131)	2	57	68	4	59	45.0%
	非製造業	(n= 76)	2	36	35	3	38	50.0%
正規社員数規模別	100名未満	(n= 105)	2	36	62	5	38	36.2%
	100～500名未満	(n= 79)	1	39	36	3	40	50.7%
	500名以上	(n= 29)	1	19	9	0	20	68.9%
採用意向別	採用意向あり	(n= 158)	3	83	65	7	86	54.4%
	採用意向なし	(n= 52)	0	11	41	0	11	21.2%
所在地別	富山県	(n= 199)	4	88	99	8	92	46.2%

※ n = 20未満は非表示

※「活用したい（計）」は、「入学させて活用したい」と「入学させず、リカレント教育の場として活用したい」の合計



大学院教育についての意見・要望

【採用意向あり】

- 大学院教育において高度な専門性を有することは良いことですが、その後の就職の選択肢が限定されることがなく、広い分野で活躍ができる人材育成を期待します。(富山県/製造業/50名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻の採用意向あり)
- 工学系の院生の方でも、もし建設業・建築に興味のある方ならば受け入れ採用をしたいと思います。(富山県/建設業/50名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 小さな会社なので新卒者の応募は未だかつてありません。素晴らしい人材は、相応しい会社へ行くべきです。これからも社会に活躍される人材を育成してください。(富山県/建設業/50名未満/情報システム工学専攻の採用意向あり)
- 就職率の高い大学なので再編の内容には期待しています。(富山県/建設業/50名未満/情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- より採用での間口を広げていただきたい為、インターンシップのご参加をお待ちしています。(富山県/製造業/50～100名未満/情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 富山県立大学の学生さんからしたら、院まで行って建設の施工会社に入るのはもったいないと感じる学生さんもいると思う。しかし、施工会社に入っても構造力学の考えはキャリアを登りつめるほど重要性が増す。学問が会社でどう活きるのか、その実際の例は民間企業だからこそ伝えられることもあると思うので、是非一緒にキャリア教育を実践したいと考えています。(富山県/建設業/50～100名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 地方ならではの、地域との関連性が高い研究分野があるといいと思います。(富山県/建設業/50～100名未満/データサイエンス専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 技術系、特に機器を扱う技術者がなかなか採用できない。離職しない優秀な学生を紹介してほしい。(富山県/情報通信業/50～100名未満/知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)

大学院教育についての意見・要望

【採用意向あり】 続き

- 院生への就活については積極的に行う予定です。(富山県/製造業/100～500名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 大学院教育の質の高さには十分満足しておりますが、今後産学連携の機会が増えるとさらに良いと思います。(富山県/製造業/100～500名未満/知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻の採用意向あり)
- 当大学院修了の子もいるので、産学連携をして実地で検討・研究もできると、学生と卒業生、共に成長できる機会を得られて良いのではないかと思います。(富山県/製造業/100～500名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 学んでこられたことが直接活かせる業種ではないが、本人の希望があれば。〈営業での採用実績あり〉(富山県/建設業/100～500名未満/採用意向先不明)
- 就職後の企業からの大学院進学の仕事も存在していますので、学部卒業後就職していただいて、研究活動を進めることも可能であります。(富山県/製造業/500～1000名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 工学研究科「生物・医薬品工学専攻」の学生の皆さんには当社を志望していただいている方もおり、引き続きよろしくお願いいたします。(富山県/製造業/500～1000名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- DX 推進に向けて必要な人財と捉えております。引き続きよろしくお願いいたします。(富山県/製造業/500～1000名未満/データサイエンス専攻/情報システム工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)
- 大学院の活用に関しましては、社員周知等を含め、今後取り組んでいきたいところです。(富山県/情報通信業/500～1000名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり)

大学院教育についての意見・要望

【採用意向あり】 続き

- 本質的には大学院は学術機関であり、企業向け人材の育成が目的ではないかもしれませんが、あまり研究肌過ぎると企業ではうまく使えません。そこを割りきった博士課程も有りではないでしょうか？（富山県/製造業/1000～5000 名未満/データサイエンス専攻・情報システム工学専攻・知能ロボット工学専攻・電気電子工学専攻・情報工学専攻の採用意向あり）

【採用意向なし】

- 当社の技術者は高卒が多いので、学び直していきなり大学院に入学できるとは思えない。（富山県/建設業/50 名未満）
- 50 人未満規模の事業所として、教育の充実と戦力離脱を熟慮して記載しました。（富山県/情報通信業/50 名未満）
- 当社の業種の兼ね合いもあるため、情報工学系大学院での採用も学び直しも希望していましたが、IT に強い人材を育成できるのは、将来的にも良い試みだと思いました。（富山県/製造業/50～100 名未満）
- 魅力が無いわけではなく、学習内容と業界に乖離があるという認識です。建設業に興味があるような方であれば歓迎いたします。（富山県/建設業/50～100 名未満）
- 業況不芳のため前向きな回答が難しい。もう少し好転した時点で考えたい。（富山県/製造業/100～500 名未満）
- 食品製造業なので、食品の専門でなければ、弊社の規模では難しい。（富山県/製造業/100～500 名未満）
- 生物・医薬品工学専攻修了者を希望。（富山県/製造業/100～500 名未満）
※新課程での採用意向はなし
- 新卒採用は全社で行っているため、グループ会社として回答させていただいております。全社には DX 認定を取得しているところもあり、情報工学系の社員は、グループ会社以外でもニーズがあります。（富山県/その他/100～500 名未満）

大学院教育についての意見・要望

【採用意向が無回答】

- 採用や大学院活用については検討中です。(富山県/製造業/50名未満)
- 当社は学部・学科不問にて採用選考しているため、採用意向と採用意向人数の質問に対しては未回答とさせていただきます。(富山県/その他/500～1000名未満)

〈調査票・提示資料〉

富山県立大学「情報工学系大学院設置に関するアンケート」へのご協力をお願い

アンケートご協力をお願い

このアンケートは、富山県立大学において令和8年4月に予定している「情報工学系大学院」の設置に関し、企業や団体の皆様のご意見を伺うことを目的としております。

つきましては、ご多用のところとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することはありませんので、率直なご意見をお書きくださいますようお願いいたします。

ご回答方法について

回答につきましては、**下記「（１）調査票による回答」または「（２）Webによる回答」のいずれかの方法**にてお願いいたします。

（１） 調査票による回答の場合

- 調査対象者をご記入くださいますようお願いいたします。
- ご記入は黒のボールペンでお願いいたします。
- 調査票は、**必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送ください**ますようお願いいたします。

（２） Webによる回答の場合

- 下記の「URL」または「QRコード」からアクセスしてください。

【URL】

<https://questant.jp/q/tkendai2024>

【QRコード】



※ 令和6年 12月13日（金） までにご返送（ご回答）願います。

【アンケート内容に関するお問い合わせ先・
調査票送付先】

一般財団法人北陸経済研究所
TEL 076-433-1134

（この調査は一般財団法人北陸経済研究所に
委託しております。）

【大学院設置に関するお問い合わせ先】

富山県立大学 事務局 経営企画課
大学院開設担当

TEL 0766-56-7500

E-mail a201anex@pu-toyama.ac.jp

富山県立大学「情報工学系大学院設置に関するアンケート」

▼ はじめに、貴社・貴団体について伺います。該当する数字を○で囲んでください。

問 1. このアンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度を教えてください。（1つに○）

1. 採用の決定権があり、選考に関わっている
2. 採用の決定権はないが、選考に関わっている
3. 採用には直接関わらず、情報や意見を収集・提供している
4. その他（具体的に

）

問 2. 貴社・貴団体の本社（本部）の所在地を教えてください。（1つに○）

1. 富山県
2. 石川県
3. 福井県
4. 関西地方
5. 関東地方
6. 中部地方
7. その他（

）

問 3. 貴社・貴団体の業種を教えてください。（1つに○）

1. 農林水産業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電気・ガス・水道・熱供給業
5. 情報通信業
6. 運輸業
7. 卸売・小売業
8. 金融・保険業
9. 不動産業
10. 飲食・宿泊業
11. 医療・福祉業
12. サービス業
13. 公務
14. その他（

）

問 4. 貴社・貴団体の正規社員数を教えてください。（1つに○）

1. 50 名未満
2. 50～100 名未満
3. 100～500 名未満
4. 500～1000 名未満
5. 1000～5000 名未満
6. 5000 名以上

問 5. 貴社・貴団体の過去 3 年間(2022～2024 年度)の、平均採用者数を教えてください。（整数を記入）

※採用がない場合は「0」名とご記入ください。

過去 3 年間の 年平均

名程度

問 6. 問 5 の回答のうち、大学院修了者数を教えてください。（整数を記入）

※採用がない場合は「0」名とご記入ください。

過去 3 年間の採用者のうち、大学院修了者の年平均

名程度

問7. 貴社・貴団体の2025年度の採用者数の予定について教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-------------|----------|-------------|
| 1. 昨年度より増やす | 2. 昨年度並み | 3. 昨年度より減らす |
| 4. 採用の予定はない | 5. 未定 | |

▼ここからは、アンケートに同封しているチラシをご覧ください。うえでご回答ください。

なお、質問の中で挙げている情報工学研究科及び専攻名はすべて仮称です。

問8. 富山県立大学が新設を予定している次の各専攻に、貴社・貴団体はどの程度魅力を感じますか？
(専攻ごとに1つに○)

情報工学研究科(博士前期課程)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
データサイエンス専攻	1	2	3	4
情報システム工学専攻	1	2	3	4
知能ロボット工学専攻	1	2	3	4

工学研究科(博士前期課程)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
電気電子工学専攻	1	2	3	4

情報工学研究科(博士後期課程)	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
情報工学専攻	1	2	3	4

問9. 富山県立大学の大学院修了者を採用したいと思いますか？(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 採用したいと思う → 問10へ | 2. 採用したいと思わない → 問11へ |
|--------------------|----------------------|

問10. 問9で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用したい人数を教えてください。(専攻ごとに1つに○)

情報工学研究科(博士前期課程)	0名	1名	2名	3名	4名	5名以上
データサイエンス専攻	0	1	2	3	4	5
情報システム工学専攻	0	1	2	3	4	5
知能ロボット工学専攻	0	1	2	3	4	5

工学研究科(博士前期課程)	0名	1名	2名	3名	4名	5名以上
電気電子工学専攻	0	1	2	3	4	5

<問 10 の続き>

情報工学研究科（博士後期課程）	0 名	1 名	2 名	3 名	4 名	5 名以上
情報工学専攻	0	1	2	3	4	5

問 11. 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの場所として、当大学院を活用したいですか？（専攻ごとに1つに○）

情報工学研究科（博士前期課程）	入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない
データサイエンス専攻	1	2	3
情報システム工学専攻	1	2	3
知能ロボット工学専攻	1	2	3

工学研究科（博士前期課程）	入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない
電気電子工学専攻	1	2	3

情報工学研究科（博士後期課程）	入学させて活用したい	入学させず、リカレント教育の場として活用したい	活用したいと思わない
情報工学専攻	1	2	3

問 12. 大学院教育に関してご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

※ アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

もう一度、記入もれがないかご確認ください。

同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

令和8年4月 情報工学系大学院を設置・再編予定！

博士前期課程

工学研究科

機械システム工学専攻
知能ロボット工学専攻
電子・情報工学専攻
環境・社会基盤工学専攻
生物・医薬品工学専攻

設置・再編後（R8.4.1）

NEW

情報工学研究科（仮称）
入学定員 62名

データサイエンス専攻（仮称） 14名

情報システム工学専攻（仮称） 24名

知能ロボット工学専攻（仮称） 24名

工学研究科

入学定員 84名

機械システム工学専攻 24名

NEW

電気電子工学専攻（仮称） 15名

環境・社会基盤工学専攻 15名

生物・医薬品工学専攻 30名

博士後期課程

工学研究科

総合工学専攻

設置・再編後（R8.4.1）

NEW

情報工学研究科（仮称）
入学定員 4名

情報工学専攻（仮称） 4名

工学研究科

入学定員 6名

総合工学専攻 6名



公立大学法人
富山県立大学

<https://www.pu-toyama.ac.jp/>

各専攻の特色

博士前期課程

情報工学研究科(仮称)

データサイエンス専攻
(仮称)

情報工学を基盤とするデータサイエンスの先進的な数理的理論やデータ分析手法を教育し、革新的な技術開発により新たな価値を創造する能力を備えた人材を育成します。さらに、応用実践を通して、主体性や協調性を涵養し、グローバルに活躍できる創造性豊かな人材を育成することを目的とします。人を包含する広範な「システム」に内在する情報の処理・利活用のためのデータ応用技術や、数値にもとづいた先進・融合的なデータ分析基盤の創出、人が中心となる先進的なインタフェース技術の開発に関する研究を行っています。

情報システム工学専攻
(仮称)

技術革新を支える情報システムの分野に関する教育・研究を行うことで、創造性と柔軟性を持ちながら幅広い知識を総合的に活用し、人々や人工知能と協力して社会の幸福の向上に貢献できる人材を養成します。理論の追求と地域への実践を志向し、センサ利用技術・ソフトウェア応用技術による高度な情報システムや、人の行動認識・変容技術、3次元情報取得技術などを学び、VRやテレプレゼンスなどの分野で現実と仮想世界のデータ解析・提示に取り組みます。

知能ロボット工学専攻
(仮称)

機械工学、電子工学、情報工学のいずれかを基盤に、これらを統合して革新的なロボット学をリードする教育・研究を行います。産業界が求める最先端スキルに加え、異なる学問領域との交流を通じて広い視野を養い、地域とグローバル社会の双方に貢献できる人材を養成します。情報技術やAIを駆使し、社会と共存する賢いロボットの開発、知的インタフェースによるユーザー体験の革新、精密工学を支える計測と加工技術の開発、最先端の電子デバイスの設計や開発に貢献できる人材を目指しています。

工学研究科

電気電子工学専攻
(仮称)

現代社会を支える高度なハードウェアやシステムに関する教育研究を行い、幅広い知識及びそれらを統合する能力を有し、創造性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる人材を養成します。特色として、現代社会になくてはならない電気電子分野である半導体、パワーエレクトロニクス、集積回路、デバイス材料、光波計測、電磁波応用、システム制御やネットワークを専門とする各教員が、それぞれの分野の技術や研究内容について、基礎的な事項から丁寧に講義するとともに実際の社会への応用例を紹介しています。

博士後期課程

情報工学研究科(仮称)

情報工学専攻(仮称)

急激に変化し多様化する地域や国際社会が直面する諸問題に対して課題設定ができ、その解決策の立案と実行能力を有する人材を養成します。データサイエンス、情報システム工学、及び知能ロボット工学の学問分野の先進的な教育研究を行い、各専門領域の深い学識を身につけ、情報工学の発展及び社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。また、本学の特徴を活かした工学研究科及び看護学研究科との連携によって、情報工学に加え広く工学や看護学の先進的な研究内容を教授する「分野横断型特別講義」を開講し、学生の研究者としての知見を広げます。

選抜方法(予定)

※内容は予定ですので、必ず令和7年度以降に公表予定の「入学要項説明会」「学生募集要項」を確認してください。

博士前期課程			
試験区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
情報工学研究科	データサイエンス専攻	学力検査(口述試験、事前提出のTOEIC/TOEFLスコア)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。	書類(成績証明書)の結果及び成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。
	情報システム工学専攻	学力検査(筆記試験、口述試験、事前提出のTOEIC/TOEFLスコア)及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。	
	知能ロボット工学専攻	学力検査(筆記試験及び口述試験(面接を含む。))の結果及び成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。	
工学研究科	電気電子工学専攻	学力検査(筆記試験及び口述試験(面接を含む。))の結果及び成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。	

※学力検査の出題等についてはホームページで公表

※各専攻では、一般選抜において、事前の書類審査で受験資格を有すると認められた者を対象に「面接試験」による選抜を実施し、その結果に基づき学力検査(筆記試験、口述試験及び面接を含む)のTOEIC/TOEFLスコア)を免除する。

博士後期課程

試験区分	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
情報工学研究科	情報工学専攻	口述試験の結果及び成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。	

お問い合わせ

富山県立大学事務局 経営企画課(大学院開設担当)

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

ホームページにアクセス!

[TEL] 0766-56-7500(代表) https://www.pu-toyama.ac.jp/g_information_engineering/

■ 構想概要(予定)

情報工学研究科

博士前期課程: 修業年数2年

データサイエンス専攻
情報システム工学専攻
知能ロボット工学専攻

修士(情報工学)又は修士(工学)

工学研究科

博士前期課程: 修業年数2年

電気電子工学専攻

修士(工学)

情報工学研究科

博士後期課程: 修業年数3年

情報工学専攻

博士(情報工学)又は博士(工学)

ACCESS Map(射水キャンパス)



※設置構想中のため、本内容は今後変更になることがあります。